

令和3年度 根拠資料一覧表

- 資料 01 令和2年度 和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会委員(医学部委員会)名簿
- 資料 02 令和2年度 教育研究審議会委員名簿
- 資料 03 FD 研修会資料(サンプル)
- 資料 04 令和2年度 第1回FD研修会について
- 資料 05 令和3年度 教育要項の作成について
- 資料 06 令和2年度 1,3,5,6年生カリキュラム
- 資料 07 令和2年度 シラバス「ケア・マインド教育」
- 資料 08 令和2年度「医学入門スケジュール」
- 資料 09 令和2年度 シラバス「医学英語」
- 資料 10 令和2年度 シラバス「遺伝子と遺伝子異常」
- 資料 11 令和2年度 臨床実習要綱別冊(選択制)臨床実習日程
- 資料 12 現6年生への選択実習の希望調査
- 資料 13 令和2年度 シラバス「基礎医学英語」
- 資料 14 令和2年度 臨床実習後客観的臨床能力試験実施計画
- 資料 15 令和2年度 卒業試験 解答
- 資料 16 Moodleの臨床実習学生評価画面
- 資料 17 「医学部生の相談ホットライン」、担任制について
- 資料 18 学生相談室の配置図
- 資料 19 平成30～令和2年度 医学部教員男女別人数
- 資料 20 和歌山県立医科大学教員選考規程
- 資料 21 ワークライフバランス支援センター あんしんGUIDE(パンフレット)
- 資料 22 クレヨン保育園の案内
- 資料 23 令和2年度教務ガイダンス資料(災害発生時の避難経路図)
- 資料 24 学生カルテ操作演習マニュアル、臨床実習要領(学生カルテ操作演習マニュアル掲載ページ)
- 資料 25 学内ページ(Eラーニングシステム)
- 資料 26 和歌山県立医科大学教育研究開発センター構想図
- 資料 27 Certificate for Medical Clerkship
- 資料 28 紀北分院 外来担当医表
- 資料 29 授業評価に係る改善計画等について
- 資料 30 令和2年度シラバス「学生による授業評価について」
- 資料 31 令和2年度 年間事業実績報告書「令和2年度開催 部会一覧」
- 資料 32 教育研究開発センター ホームページ(部会・委員会)

令和2年度 教育研究開発センター

各部会部会長・副部会長・部会委員（医学部委員会）名簿

※ 任期：令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年）

【カリキュラム専門部会】

部会長	村田 顕也	(教育研究開発センター長)	〈医学部委員会委員長〉
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)	
	廣田 麻子	(教養・医学教育大講座 教授)	
	平井 秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	森川 吉博	(解剖学第2講座 教授)	
	改正 恒康	(生体調節機構研究部 教授)	
	山田 源之	(遺伝子制御学研究部 教授)	
	北野 雅之	(内科学第2講座 教授)	
	伊東 秀文	(脳神経内科学講座 教授)	
	神人 正寿	(皮膚科学講座 教授)	
	中尾 直之	(脳神経外科学講座 教授)	
	井籠 一彦	(産科・婦人科学講座 教授)	
	廣西 昌也	(紀北分院総合内科学 教授)	
	上野 雅巳	(地域医療支援センター 教授)	
	高橋 麻衣子	(教育研究開発センター 助教)	

学生委員 2 名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。

【臨床技能教育部会】

部会長	加藤 正哉	(救急・集中治療医学講座 教授)	〈医学部委員会委員長・OSCE実施責任者〉
副部会長	柳川 敏彦	(保健看護学部長)	
◎OSCE実施委員			
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)	
	園村 哲郎	(放射線医学講座 教授)	
	井口 幹崇	(内科学第2講座 准教授)	
	中西 正典	(内科学第3講座 准教授)	
	久保 隆史	(内科学第4講座 准教授)	
	柑本 康夫	(泌尿器科学講座 准教授)	
	西林 宏起	(脳神経外科学講座 准教授)	
	田中 才一	(眼科学講座 准教授)	
	水本 一弘	(医療安全推進部 准教授)	
	高橋 麻衣子	(教育研究開発センター 助教)	

◎CBT実施委員

	山田 源	(学生部長)	〈CBT実施責任者〉
	村田 顕也	(教育研究開発センター長)	
	中田 正範	(生理学第2講座 教授)	
	藤吉 朗	(衛生学講座 教授)	
	西尾 真智子	(微生物学講座 教授)	
	中西 正典	(内科学第3講座 准教授)	
	久保 隆史	(内科学第4講座 准教授)	
	中村 公紀	(外科学第2講座 准教授)	
	グンデウス メーメット	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 准教授)	
	西 理宏	(病態栄養治療部 准教授)	
	南 佐和子	(総合周産期母子医療センター 准教授)	
	山本 景一	(情報基盤センター 准教授)	
	高橋 麻衣子	(教育研究開発センター 助教)	

【FD部会】

部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)
副部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)
	山田源	(学生部長)
	廣田麻子	(教養・医学教育大講座 教授)
	井原義人	(生化学講座 教授)
	藤井隆夫	(リウマチ・膠原病科学講座 教授)
	高橋麻衣子	(教育研究開発センター 助教)

【教育評価部会】

部会長	村田顕也	(教育研究開発センター長)	〈医学部委員会委員長〉
副部会長	柳川敏彦	(保健看護学部長)	
	平井秀一	(教養・医学教育大講座 教授)	
	茂里康人	(教養・医学教育大講座 教授)	
	井原義人	(生化学講座 教授)	
	改正恒康	(生体調節機構研究部 教授)	
	鈴木木啓之	(小児科学講座 教授)	
	山本信之	(内科学第3講座 教授)	
	伊東秀文	(脳神経内科学講座 教授)	
	中尾直之	(脳神経外科学講座 教授)	
	原田勲宏	(泌尿器科学講座 教授)	
	山田麻衣子	(整形外科学講座 教授)	
	高橋麻衣子	(教育研究開発センター 助教)	
	高見茂	(京都光華女子大学 学長)	
	首藤太一	(大阪市立大学総合医学教育学 教授)	

学生委員 1 名 ※学生自治会代議員会において毎年度選出する。

【自己評価委員会】

委員長	村垣泰光	(医学部長)
	柳川敏彦	(保健看護学部長)
	太田茂	(参事(薬学部長予定者))
	平井秀一	(入試センター長)
	山上裕機	(病院長)
	山田源	(学生部長)
	高橋麻衣子	(教育研究開発センター 助教)
	首藤太一	(大阪市立大学総合医学教育学 教授)
	大江嘉幸	(前和歌山市教育委員会教育長)

【運営委員会】

委員長	教育研究開発センター長
	教育研究開発センター 副センター長
	医学部長
	保健看護学部長
	参事(薬学部長予定者)
	学生部長
	入試センター長
	事務局長

令和2年度教育研究審議会委員

役 職	氏 名	備 考
学 長	宮下 和久	理事長
2号委員	稲葉 信	副理事長
3号委員	島 秀之	事務局長
5号委員	村垣 泰光	医学部長
5号委員	柳川 敏彦	保健看護学部長
6号委員	山上 裕機	附属病院長
6号委員	雑賀 司珠也	産官学連携推進本部長
6号委員	山田 源	学生部長
6号委員	平井 秀一	入試センター長
6号委員	森岡 郁晴	図書館長
6号委員	上野 雅巳	地域・国際貢献推進本部長
7号委員	森川 吉博	解剖学第2講座教授
7号委員	岩村 龍子	保健看護学部教授
7号委員	鈴木 啓之	小児科学講座教授
8号委員	足立 基浩	学外委員（和歌山大学教授）

※サンプル

ケアマインド教育1年生講義 コアカリ対応表

No.	項目	担当科	担当	コアカリキュラム	番号
1	オリエンテーション	教育研究開発センター	村田	A-1-1	②
				A-1-2	②③④
2	障害者スポーツ講演(患者)	教育研究開発センター	村田	A-1-2	②③④
				A-4-1	③
3	障害者スポーツグループワーク	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
4	障害者スポーツ学生発表	教育研究開発センター	村田	A-2-1	①②③④
	(以下、略)				



今年度の講義内容がコア・カリキュラムのどの部分に該当するかチェックを行う

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (抜粋版)

文部科学省<http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm>

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1) 医の倫理と生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> ①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。
A-1-2) 患者中心の視点	<ul style="list-style-type: none"> ①リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる
A-1-3) 医師としての責務と裁量権	<ul style="list-style-type: none"> ①診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ③医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 ⑤医師の法的義務を列挙し、例示できる。

改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方(抄)

大学教育における位置付け

○モデル・コア・カリキュラムの整理

モデル・コア・カリキュラムは、各大学が策定する「カリキュラム」のうち、全大学で共通して取り組むべき「コア」の部分抽出し、「モデル」として体系的に整理したものである。このため、従来どおり、**各大学における具体的な医学教育は、学修時間数の3分の2程度を目安にモデル・コア・カリキュラムを参考**とし、授業科目等の設定、教育手法や履修順序等 残りの3分の1程度の内容は各大学が自主的に編成するものとする。この際、卒前の研究室配属などの学生時代から医学研究への志向を涵養する教育や、医療関係者以外の方の声を聴くなどの授業方法の工夫など、各大学において特色ある取組や授業内容の改善に加え、これらの実現に向けた教(職)員の教育能力の向上を進めることが望まれる。こうした取組の実行可能性を高めるために、基本的にはモデル・コア・カリキュラムをスリム化する方向で整理をしたが、合わせて、医学や医療の進歩に伴う知識や技能について、全てを卒前教育において修得することを目指すものではなく、生涯をかけて修得していくことを前提に、卒前教育で行うべきものを精査する必要があることも強調しておく。

令和2年度 第1回 FD研修会のご案内

テーマ

本年度卒業試験の概要について

本年度に本学で実施した卒業試験と医師国家試験との成績の相関関係の分析結果等について、解説いただきます。是非ご参加ください。

■ 日 時：令和3年3月29日（月） 17:30 ～ 18:30

■ 場 所：基礎教育棟3階・講義室2

■ 講 師：本学 教育研究開発センター

教授 村田 顕也

■ 問い合わせ先：事務局 学生課教務班（内線 5703）

※ 助教以上の教員につきましては、積極的な当研修会への参加にご協力くださいますようお願いいたします。

和 医 大 学 号 外
令 和 2 年 1 2 月 2 2 日

臨床医学講義担当教員 様

教育研究開発センター長
(公 印 省 略)

令和3年度教育要項の作成について（依頼）

標記について、令和3年度カリキュラムを別添のとおり実施いたしますので、下記により担当授業科目の原稿作成をお願いいたします。

また、暦の関係やカリキュラム編成の関係上、時間割等が昨年度と変わっている場合がありますので、添付資料の時間割表案等にご留意のうえご検討くださいますようお願いいたします。

なお、授業の実施方法（遠隔と面接いずれの形式で実施するか）は、12月中を目処に方針を協議し、追って連絡させて頂く予定です。

記

- 1 原稿作成の担当箇所 別添配付資料のとおり
- 2 提出期限 令和3年1月13日（水）必着（厳守）
- 3 提出先 学生課教務班
- 4 留意事項等 別紙1のとおり
- 5 提出原稿とともに原稿作成担当教員の氏名等について、様式1により文書またはE-mail（）までご報告ください。
- 6 ご提出いただいた原稿については、記載の統一を図るための修正を行う場合がありますので予めご了承ください。

※ 臨床医学講義（主題別）担当オーガナイザーにおかれましては、科目内の全ての教室（所属）の担当教員と講義日程等について、十分ご協議いただきますようお願いいたします。

担当：学生課教務班

※ 令和3年度の4年生は105名程度となる見込みです。

- (1) 各授業科目において、学際的な内容の教授についてはもちろんのことですが、モデル・コア・カリキュラム（文部科学省）及び医師国家試験出題基準（厚生労働省）に記載されている内容については、教育要項用原稿において、講義項目及び個別学習目標等への記載をしていただくとともに、講義等においてはこれらの内容について必ず、かつ、十分に教授していただき、評価についてもその内容について最低限試験への出題等、実施していただきますようお願いいたします。
- (2) 令和3年度の学事予定、祝祭日等にご留意のうえ、ご検討ください。
- (3) 令和2年度教育要項により、内容に他の講義との重複がないかについてチェックを必ず行ってください。なお、内容に重複がある場合は、当該授業科目担当教員と事前に調整のうえ作成してください。
- (4) 臨床医学講義(主題別)担当オーガナイザーにおかれましては、科目内のすべての教室(所属)の調整を行っていただくとともに、1科目で2名のオーガナイザーがいる科目においては両者に当該通知を行っていますが、事前に調整のうえ、代表オーガナイザー1名からの提出としてください。
- (5) 一般学習目標の記載について
 - ・原則として2～3行で記載してください。
 - ・一般学習目標は学習の成果を表現したものです。
 - ・概念的な動詞（例：理解する、適用する、習得するなど）を用いて表現するようにしてください。行動的な動詞（例：述べる、列挙する、選ぶなど）は用いないのが一般的です。
- (6) 講義項目及び個別学習目標の記載について
 - ・モデル・コア・カリキュラム及び医師国家試験出題基準に記載されている項目については、必ず記載いただき、重点的に教授・評価を行ってください。
 - ・講義項目ごとに個別学習目標を必ず記載してください。
 - ・少なくとも10項目以上の個別学習目標を記載してください。
 - ・具体的な行動を示す動詞（例：説明する、列挙する、示す、述べるなど）を用いてください。
- (7) 評価の方法の記載について
 - ・具体的かつ詳細に記載してください。
 - 例：○小テスト10%、期末試験60%、出席20%、レポート10%で評価する。
 - 例：○期末試験の成績は全学的な基準により評価する。なお、出席が2/3に満たない場合は、不合格とする。等
- (8) ご担当いただく箇所の令和2年度版の原稿及び講義日程表を添付していますので、変更及び追加訂正等については赤字で記載していただくか、または、新たに作成した原稿を提出してください。
新たに原稿を作成された場合は、原稿(紙で)の提出とともにE-mailで原稿を送付してください。
※コアカリキュラムの部分については、教育要項には記載しません。
- (9) 試験については、試験日程表のとおり行っていただきたいと考えていますが、時間について、ご検討の上、赤ペンで訂正のうえ、原稿と併せてご提出ください。
- (10) PBLを行っている系統について
PBL/チュートリアルは小グループに対して行われるものです。4年次の臨床講義の際のPBLとされているものについては、全体に対して行われた場合にはTBL (Team-based learning) としてください。
- (11) 配付資料
 - 〔原稿〕 担当授業科目令和2年度原稿、令和2年度講義日程表
 - 〔資料〕 令和3年度学事予定表、令和3年度暦、授業時間割表案、医学部履修要領

1年生（Ⅰ・Ⅱ期）カリキュラム

※火曜日時間割 1限:8:50～10:00、2限:10:10～11:20、3限:11:30～12:40、4限:13:30～15:00(90分)、5限:15:10～16:20

※講義は主として医学部三葛教育棟1階の講義室1で行われるが、詳細は掲示によって通知する。

※情報処理、物理学実習Ⅰ、化学実習Ⅰ、生物学実習Ⅰは、Ⅰ期の前半・後半をA・Bのグループに分かれて受講する。医学統計学、心理学実習は、A・Bのグループに分かれて隔週ごとに受講する。（詳細は別途掲示する。）

※内容は変更になることがある。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
	3/30						3/31						4/1						4/2						4/3					
1	4/6						4/7	入学式				新入生ガイダンス(ワークショップ)	4/8	新入生ガイダンス					4/9	新入生ガイダンス		情報処理/化学実習Ⅰ			4/10	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学
2	4/13	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/14	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	健康診断		4/15	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			4/16	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			4/17	新入生研修					
3	4/20	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/21	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	教養セミナーⅠ	4/22	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			4/23	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			4/24	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学	
4	4/27	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	4/28	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	教養セミナーⅠ	4/29	昭和の日					4/30	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/1	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学	
5	5/4	みどりの日					5/5	こどもの日					5/6	振替休日(憲法記念日)					5/7	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/8	TOEFL ITP/M.D-Ph.D説明会				
6	5/11	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/12	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/13	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/14	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/15	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学	
7	5/18	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/19	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/20	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/21	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/22	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学	
8	5/25	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	5/26	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	5/27	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			5/28	英語Ⅰb	法学	情報処理/生物学実習Ⅰ			5/29	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学	
9	6/1	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/2	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/3	化学A	英語Ⅰa	情報処理/化学実習Ⅰ			6/4	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		6/5	基礎理科(物/化/生)		心理学Ⅰ	数学	数理科学		
10	6/8	人権講義	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/9	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/10	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		6/11	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		6/12	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
11	6/15	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/16	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/17	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		6/18	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		6/19	人権講義	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
12	6/22	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/23	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	6/24	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		6/25	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		6/26	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
13	6/29	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	6/30	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	7/1	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		7/2	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		7/3	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
14	7/6	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	7/7	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	7/8	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		7/9	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		7/10	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
休	7/13	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/14	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/15	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/16	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/17	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)				
	7/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/21	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/22	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/23	海の日					7/24	スポーツの日				
	7/27	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/28	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/29	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/30	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					7/31	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)				
	8/3	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/4	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/5	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/6	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/7	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)				
	8/10	山の日					8/11	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/12	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/13	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/14	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)				
	8/17	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/18	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/19	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/20	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)					8/21	夏期休業日/早期体験実習(Early Exposure)				
15	8/24	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	8/25	物理学A	フランス語/ドイツ語/中国語	医学入門	教養セミナーⅠ	8/26	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		8/27	英語Ⅰb	法学	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ		8/28	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学			
16	8/31	生物学A	倫理学	医療社会科学Ⅰ	教養セミナーⅠ	保健体育Ⅰ	9/1	物理学A	早期体験実習報告会	ケア・マインド	教養セミナーⅠ	9/2	化学A	英語Ⅰa	物理学実習Ⅰ/化学実習Ⅰ		9/3	生物学A	生物学A	物理学実習Ⅰ/生物学実習Ⅰ			9/4	医学概論Ⅰ	医学概論Ⅰ	心理学Ⅰ	数学	数理科学		
17	9/7	Ⅰ期試験					9/8	Ⅰ期試験					9/9	Ⅰ期試験					9/10	Ⅰ期試験					9/11	Ⅰ期試験				
18	9/14	Ⅰ期試験					9/15	Ⅰ期試験					9/16	Ⅰ期試験					9/17	Ⅰ期試験					9/18	Ⅰ期試験				

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
19	9/21	敬老の日					9/22	秋分の日					9/23	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			9/24	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	9/25	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習		
20	9/28	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	9/29	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	9/30	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			10/1	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/2	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
21	10/5	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/6	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	10/7	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			10/8	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/9	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
22	10/12	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/13	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	10/14	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			10/15	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/16	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
23	10/19	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/20	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	10/21	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			10/22	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/23	大学祭(10/23~10/25)						
24	10/26	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	10/27	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	10/28	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			10/29	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	10/30	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
25	11/2	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/3	文化の日					11/4	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			11/5	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/6	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
26	11/9	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/10	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	11/11	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			11/12	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/13	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
27	11/16	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	11/17	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	11/18	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			11/19	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/20	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
28	11/23	勤労感謝の日					11/24	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	11/25	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			11/26	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	11/27	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習			
29	11/30	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	12/1	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	12/2	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			12/3	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/4	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
30	12/7	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	12/8	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	ケア・マインド	I期再試験	12/9	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			12/10	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/11	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
31	12/14	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	12/15	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	12/16	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			12/17	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	12/18	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
休	12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日					12/25	冬期休業日				
	12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日					1/1	冬期休業日				
32	1/4	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	1/5	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	1/6	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			1/7	英語Ⅱb	生物学B	医療経済学	医学概論Ⅱ	英語Ⅱc	1/8	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
33	1/11	成人の日					1/12	教養セミナーⅡ	フランス語/ドイツ語/中国語	生体分子の構造と機能Ⅰ	生体分子の構造と機能Ⅰ	1/13	化学B	英語Ⅱa	物理学実習Ⅱ/生物学実習Ⅱ/化学実習Ⅱ			1/14	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	1/15	教養セミナーⅡ	物理学B	医学統計学/心理学実習				
34	1/18	哲学/社会学	心理学Ⅱ	統計学	保健体育Ⅱ	1/19	Ⅱ期試験					1/20	Ⅱ期試験					1/21	Ⅱ期試験					1/22	Ⅱ期試験					
35	1/25	Ⅱ期試験					1/26	Ⅱ期試験					1/27	Ⅱ期試験					1/28	Ⅱ期試験					1/29	Ⅱ期試験				
36	2/1	Ⅱ期試験					2/2	医学入門(エスコート実習、事前講習)					2/3						2/4						2/5					
37	2/8	Ⅱ期再試験					2/9	Ⅱ期再試験					2/10	Ⅱ期再試験					2/11	建国記念の日					2/12	Ⅱ期再試験				
38	2/15	Ⅱ期再試験					2/16	Ⅱ期再試験					2/17	Ⅱ期再試験					2/18	Ⅱ期再試験					2/19	Ⅱ期再試験				
(1)	2/22	地域福祉施設体験実習					2/23	天皇誕生日					2/24	地域福祉施設体験実習					2/25	地域福祉施設体験実習					2/26	地域福祉施設体験実習				
(2)	3/1	実習報告会			人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	3/2	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	3/3	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	3/4	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	3/5	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能	人体の正常構造と機能
(3)	3/8	学年末休業日					3/9	学年末休業日					3/10	学年末休業日					3/11	学年末休業日					3/12	学年末休業日				
(4)	3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	卒業式					3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日				

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
1	2/17	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	2/18	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	生体と微生物	2/19	免疫と生体防御	免疫と生体防御	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	2/20	開学記念日					2/21	前期入試準備				
2	2/24	振替休日					2/25	前期入試					2/26	前期入試					2/27	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	2/28	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
3	3/2	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	3/3	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	生体と微生物	3/4	免疫と生体防御	免疫と生体防御	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	3/5	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	3/6	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
4	3/9	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	3/10	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	講義予備	講義予備	3/11	免疫と生体防御	免疫と生体防御	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	3/12	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	3/13	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
休	3/16	学年末休業日					3/17	学年末休業日(卒業式)					3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日					3/20	春分の日				
	3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日					3/26	学年末休業日					3/27	学年末休業日				
	3/30	春期休業日					3/31	春期休業日					4/1	春期休業日					4/2	春期休業日					4/3	春期休業日				
5	4/6	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/7	入学式					4/8	免疫と生体防御	免疫と生体防御	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	4/9	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/10	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
6	4/13	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/14	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	健康診断		4/15	免疫と生体防御	免疫と生体防御	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	4/16	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/17	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
7	4/20	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	医学英語	医学英語	4/21	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	講義予備	4/22	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	生体と微生物	4/23	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/24	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
8	4/27	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	4/28	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	生体と微生物	4/29	昭和の日					4/30	病因と病態	病因と病態	病因と病態	遺伝子と遺伝子異常	遺伝子と遺伝子異常	5/1	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	免疫と生体防御	免疫と生体防御
9	5/4	みどりの日					5/5	こどもの日					5/6	振替休日					5/7	講義予備日					5/8	講義予備日(TOEFL-ITPテスト)				
10	5/11	試験					5/12	試験					5/13	試験					5/14	試験					5/15	試験				
11	5/18	試験					5/19	試験					5/20	試験					5/21	試験					5/22	試験				
12	5/25	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	5/26	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	5/27	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	5/28	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	5/29	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
13	6/1	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/2	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/3	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	6/4	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/5	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
14	6/8	生体と微生物	生体と微生物	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/9	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/10	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	6/11	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/12	生体と薬物	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属
15	6/15	生体と微生物	生体と微生物	特別講義(地域医療)	基礎配属	基礎配属	6/16	人の死(法医学)	人の死(法医学)	特別講義(人権講義)	基礎配属	基礎配属	6/17	生体と薬物	生体と薬物	特別講義(人権講義)	基礎配属	基礎配属	6/18	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	6/19	生体と薬物	生体と薬物	講義予備	基礎配属	基礎配属
16	6/22	生体と微生物	特別講義(交換講義)	特別講義(交換講義)	基礎配属	基礎配属	6/23	人の死(法医学)	人の死(法医学)	人の死(法医学)	基礎配属	基礎配属	6/24	生体と薬物	生体と薬物	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	6/25	病因と病態	病因と病態	病因と病態	講義予備	講義予備	6/26	生体と薬物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	基礎配属
17	6/29	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	6/30	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/3	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
18	7/6	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	7/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
休	7/13	夏期休業日					7/14	夏期休業日					7/15	夏期休業日					7/16	夏期休業日					7/17	夏期休業日				
	7/20	夏期休業日					7/21	夏期休業日					7/22	夏期休業日					7/23	海の日					7/24	スポーツの日				
	7/27	夏期休業日					7/28	夏期休業日					7/29	夏期休業日					7/30	夏期休業日					7/31	夏期休業日				
	8/3	夏期休業日					8/4	夏期休業日					8/5	夏期休業日					8/6	夏期休業日					8/7	夏期休業日				
	8/10	山の日					8/11	夏期休業日					8/12	夏期休業日					8/13	夏期休業日					8/14	夏期休業日				
	8/17	夏期休業日					8/18	夏期休業日					8/19	夏期休業日					8/20	夏期休業日					8/21	夏期休業日				
19	8/24	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/25	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/26	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/27	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	8/28	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
20	8/31	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/1	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/3	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/4	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
21	9/7	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/8	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/10	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	9/11	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属

3年生(V期・VI期)カリキュラム

※講義は主として基礎教育棟3階 講義室2で行われますが、詳細は掲示または講義内で通知します。

No	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日									
	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限	日付	1限	2限	3限	4限	5限
22	9/14	生体と微生物	生体と微生物	病棟実習 事前説明	基礎配属	基礎配属	9/15	病棟実習			基礎配属	基礎配属	9/16	病棟実習			基礎配属	基礎配属	9/17	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	9/18	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
23	9/21	敬老の日					9/22	秋分の日					9/23	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	9/24	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	9/25	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
24	9/28	生体と微生物	生体と微生物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	9/29	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	9/30	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/1	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	10/2	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
25	10/5	生体と微生物	生体と微生物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/6	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/7	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/8	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	10/9	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
26	10/12	生体と微生物	生体と微生物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/13	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/14	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/15	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	10/16	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属	基礎配属
27	10/19	生体と微生物	生体と微生物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/20	人の死(法医学)	人の死(法医学)	慰霊祭			10/21	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/22	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	10/23	大学祭(10/23～10/25)				
28	10/26	生体と微生物	生体と微生物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/27	人の死(法医学)	人の死(法医学)	生体と微生物	基礎配属	基礎配属	10/28	生態と病害動物	生態と病害動物	生体と薬物	基礎配属	基礎配属	10/29	病因と病態	病因と病態	病因と病態	基礎配属	基礎配属	10/30	講義予備				
29	11/2	微生物学実習					11/3	文化の日					11/4	微生物学実習					11/5	微生物学実習					11/6	微生物学実習				
30	11/9	微生物学実習					11/10	微生物学実習					11/11	微生物学実習					11/12	微生物学実習					11/13	微生物学実習				
31	11/16	微生物学実習					11/17	微生物学実習					11/18	講義予備					11/19	講義予備					11/20	講義予備				
32	11/23	勤労感謝の日					11/24	試験					11/25	試験					11/26	試験					11/27	試験				
33	11/30	試験					12/1	試験					12/2	試験					12/3	試験					12/4	試験				
34	12/7	薬理学実習					12/8	薬理学実習					12/9	薬理学実習					12/10	薬理学実習					12/11	薬理学実習				
35	12/14	薬理学実習					12/15	薬理学実習					12/16	薬理学実習					12/17	薬理学実習					12/18	薬理学実習				
休	12/21	冬期休業日					12/22	冬期休業日					12/23	冬期休業日					12/24	冬期休業日					12/25	冬期休業日				
	12/28	冬期休業日					12/29	冬期休業日					12/30	冬期休業日					12/31	冬期休業日					1/1	冬期休業日				
36	1/4	再試験(基礎配属)					1/5	再試験(基礎配属)					1/6	再試験(基礎配属)					1/7	再試験(基礎配属)					1/8	再試験(基礎配属)				
37	1/11	成人の日					1/12	再試験(基礎配属)					1/13	再試験(基礎配属)					1/14	OSCE(講義室使用不可)					1/15	基礎配属報告会				
38	1/18	臨床医学講義(※)					1/19	臨床医学講義(※)					1/20	臨床医学講義(※)					1/21	臨床医学講義(※)					1/22	臨床医学講義(※)				
39	1/25						1/26						1/27						1/28						1/29					
40	2/1						2/2						2/3						2/4						2/5					
41	2/8						2/9						2/10						2/11						2/12					
42	2/15						2/16						2/17						2/18						2/19					
43	2/22						2/23						2/24						2/25						2/26					
44	3/1						3/2						3/3						3/4						3/5					
45	3/8						3/9						3/10						3/11						3/12					
休	3/15	学年末休業日					3/16	学年末休業日					3/17	学年末休業日(卒業式)					3/18	学年末休業日					3/19	学年末休業日				
	3/22	学年末休業日					3/23	学年末休業日					3/24	学年末休業日					3/25	学年末休業日					3/26	学年末休業日				

※1/18からの臨床医学講義については未定の部分がありますので、決まり次第追ってお知らせします。

5年生(Ⅸ・Ⅹ期)カリキュラム

※Ⅸ・Ⅹ期の臨床実習については、すべて実務経験のある教員(大学附属病院等における勤務経験のある医師等)によって実施されている。

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

2月3日(月)~2月7日(金) 1W オリエンテーション
 2月10日(火)~7月31日(金) 24W 臨床実習
 8月31日(月)~12月18日(金) 16W 臨床実習
 1月12日(火)~2月5日(金) 4W 臨床実習

6年生(Ⅺ・Ⅻ期)カリキュラム

※Ⅺ・Ⅻ期の臨床実習については、すべて実務経験のある教員(大学附属病院等における勤務経験のある医師等)によって実施されている。

曜	1	2	3	4	5
	8:50~10:00	10:10~11:20	11:30~12:40	13:40~14:50	15:00~16:10
月	臨床実習				
火	臨床実習				
水	臨床実習				
木	臨床実習				
金	臨床実習				

2月10日(月)~4月24日(金) 9W 選択制臨床実習
 5月18日(月)~7月17日(金) 9W 選択制臨床実習
 7月21日(火) 1限~2限 衛生学・公衆衛生学
 3限 Post-CC OSCE 説明会
 4限 知的財産権
 5限 薬害問題
 7月27日(月) Post-CC OSCE (1日目)
 (Post Clinical Clerkship OSCE)
 7月28日(火) Post-CC OSCE (2日目)
 9月~11月 卒業試験

※気象警報発令等によりPost-CC OSCEが延期となった場合の日程

8月27日(木) Post-CC OSCE (1日目)
 8月28日(金) Post-CC OSCE (2日目)

(医療入門)

ケア・マインド教育〈A3〉

オーガナイザー

教育研究開発センター	教授	村田 顕也
保健看護学部	教授	柳川 敏彦
保健看護学部	教授	山口 雅子
保健看護学部	教授	水越 正人
教養・医学教育大講座 哲学	准教授	竹山 重光

I 一般学習目標

医療人を志すものとして知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指す。

また、行政・司法を含めた社会制度を知ることにより、個々の患者の社会的背景、支援の状況についての理解を深める。本講義は、医学部・保健看護学部の共通講義である。多職種連携教育を通して相互理解を深め、患者中心の医療を行うための各自の役割を学ぶ。

II 個別学習目標

1. 医療において病める人の視点で考えることの重要性について述べることができる。
2. チーム医療の状況、重要性について述べるができる。
3. 患者個人として疾患の受け取り方、対応の仕方に多様性があることを説明できる。
4. 疾病の罹患に伴う精神的、経済的、社会的負担を、体験を通して説明できる。
5. 疾患の対応、支援について多くの職種が関わっていることを述べるができる。
6. 患者のみでなく、患者の家族への対応、支援の方法について述べるができる。
7. 疾患について、医学的な支援の状況と限界について述べるができる。
8. 疾患について、行政からの支援の状況について述べるができる。
9. 疾患について、地域社会からの支援について述べるができる。
10. 薬害について理解し、支援について述べるができる。
11. 障害者医療について述べるができる。
12. 神経難病・遺伝性疾患を有する患者の在宅医療の問題点について述べるができる。
13. 地域・僻地医療の現場での取り組みについて説明できる。

III 教育内容

講義項目と担当者

1. 本年度の講師については、患者および患者の会、福祉行政、司法、地域医療の実務者をお願いする予定である。詳しい内容については別途明らかにする。
2. Early Exposure (EE) : 和歌山県下の医療施設で現場の医療を体験し、その内容を報告会で発表する。
期間・予定施設については別途明らかにする。

IV 学習および教育方法

教官による疾患の概略講義後、①患者本人・家族による疾患に関する体験談 ②患者を支援する人々の考えを話していただく。

グループワーク (GW) では医学部・保健看護学部学生混合のグループ分けを行い、グループ毎にテーマを設定し自己学習・発表・討論を行う。最終日には参加者全員の前で発表する。

V 評価の方法

授業への出席および授業態度(20%)、EE感想文・各講義やGWで課されたレポート(70%)、EEやGWでの発表内容(10%)により評価する。EEやGWでの発表内容は、学生も評価に参加する。
評価の基準は大学の基準とする。

講 義 日 程 表※日程・内容は変更になることがあります。

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当	
1	R2.5.12	(火)	4	オリエンテーション + 脊髄損傷について	教育研究開発センター	村田
2	R2.5.19	(火)	4	脊髄損傷WG	教育研究開発センター	村田
3	R2.5.26	(火)	4	医療人類学:和歌山の人々の暮らし	保健看護学部	山口
4	R2.6.2	(火)	4	がん	保健看護学部	柳川
5	R2.6.9	(火)	4	脊髄損傷発表	教育研究開発センター	村田
6	R2.6.16	(火)	4	小児医療	保健看護学部	山口
7	R2.6.23	(火)	4	医療人類学	保健看護学部	山口
8	R2.6.30	(火)	4	医療ネグレクト+WG	保健看護学部	柳川
9	R2.7.7	(火)	4	性的マイノリティ	保健看護学部	山口
10	R2.9.1	(火)	4	予備日		
11	R2.9.29	(火)	4	チーム医療	保健看護学部	水越
12	R2.10.6	(火)	4	視覚障がい	保健看護学部	柳川
13	R2.10.13	(火)	4	医療人類学WG1	保健看護学部	山口
14	R2.10.20	(火)	4	医療人類学WG2	保健看護学部	山口
15	R2.10.27	(火)	4	医療人類学発表	保健看護学部	山口
16	R2.11.10	(火)	4	ALS(筋萎縮性側索硬化症)について	教育研究開発センター 教養・医学教育大講座 (哲学教室)	村田 竹山
17	R2.11.17	(火)	4	ダウン症について	教育研究開発センター	村田
18	R2.11.24	(火)	4	薬害(B型肝炎)について	教育研究開発センター	村田
19	R2.12.1	(火)	4	ALS・B型肝炎・ダウン症WG	教育研究開発センター	村田
20	R2.12.8	(火)	4	ALS・B型肝炎・ダウン症発表	教育研究開発センター	村田

R2 医学入門スケジュール				
コロナ対策後	コロナ前			
7月14日	4月21日	火	13:30~15:00	休講
7月21日	4月28日	火	13:30~15:00	EBM(研究のデザインとエビデンス研究) (臨床研究センター 下川先生)
8月25日	8月25日	火	13:30~15:00	飲酒・喫煙について (公衆衛生学 竹下先生)
2月2日	2月2日	火	1~3限	エスコート実習
2月2日	2月2日	//	4~5限	実習事前講習
2月22日	2月22日	月		地域福祉施設体験実習→ 中止
~	~	~		
2月26日	2月26日	金		
3月1日	3月1日	月	1~3限	地域福祉施設体験実習報告→ 中止

医学英語 < P M >

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教員名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 准教授 グンデウズ・メーメット

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 グンデウズ・エスラ

遺伝子制御学研究室 Mellissa Alcantara

大森千尋

I 一般学習目標

医学に特化して、学術目的の英語力を磨き、習熟する。アカデミックな英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方を習得する。

II 個別学習目標

1. 医学に特化した、アカデミックな英語を正しく理解する
2. 医療関連の記事の内容を理解する
3. 医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 医学に特化した学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方を学ぶ
7. 医学に特化した学術英語語彙の語源を理解する
8. 医学に特化した学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 国際保健の現場を知る
10. 医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・総合医学英語を教授する
- ・臨床の場で使われる英語の語彙を教授する
- ・臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する
- ・最新の発生医学研究を踏まえたAdvanced Medical English Lesson を教授する
- ・国際保健の現場の様子を教授する

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験80%、提出物20%で評価する。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『講義録 医学英語II 科学英語への扉』（メジカルビュー社）

講義日程表(医学英語 廣田)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R2. 2. 17	月	4	Reading the Medical Research Paper	英語	廣田
2	R2. 2. 17	月	5	Entering the Medical Research Paper	英語	廣田
3	R2. 3. 2	月	4	Reading the Introduction	英語	廣田
4	R2. 3. 2	月	5	Methods	英語	廣田
5	R2. 3. 9	月	4	Practical Medical English	英語	グンデウス メーメット
6	R2. 3. 9	月	5	Practical Medical English	英語	廣田・グンデ ウス エスラ
7	R2. 4. 6	月	4	Practical Medical English	英語	廣田・Melissa Alcantara
8	R2. 4. 6	月	5	Results	英語	廣田
9	R2. 4. 13	月	4	国際保健	英語	大森
10	R2. 4. 13	月	5	Discussion	英語	廣田
11	R2. 4. 20	月	4	Case Report	英語	廣田
12	R2. 4. 20	月	5	まとめ	英語	廣田

遺 伝 子 と 遺 伝 子 異 常 < C 2 & C 4 >

オーガナイザー

分子遺伝学講座 教授 井上 徳光

教 員 名

分子遺伝学講座	総合周産期母子医療センター
教授 井上 徳光	病院教授 南 佐和子
講師 片山 圭一	
講師 日高 義彦	

I 一般学習目標

各種の遺伝性疾患について病態の理解、臨床診断、遺伝学的検査の計画とその結果の評価、および遺伝カウンセリングができるようになるために、遺伝医学の基礎およびその概念を習得する。

II 個別学習目標

1. 遺伝医学の習得の重要性について説明できる。
2. 講義中に紹介される典型的な遺伝性疾患の発症機序、症状、臨床所見、診断のための検査法、予防手段および治療法等を説明できる。
3. 遺伝子多型 (polymorphism) の定義、検出方法およびその利用方法を説明できる。
4. 集団遺伝学の基本概念および Hardy-Weinberg の法則の説明ができる。
5. 変異の種類とその生じ方について説明できる。
6. 機能獲得型変異 (gain-of-function mutation)、機能喪失型変異 (loss-of-function mutation)、優性阻害型変異 (dominant-negative mutation) について、遺伝形式との関連性を含めて説明できる。
7. ハプロ不全 (haploinsufficiency) と 2 ヒットモデルを理解し、これらの機構によって発症する疾患について説明できる。
8. 常染色体性優性遺伝、常染色体性劣性遺伝、X 染色体連鎖性遺伝、Y 染色体連鎖性遺伝等の本質を説明し、それぞれに属す疾患の診断と遺伝カウンセリングに対応できる。
9. 座位異質性 (locus heterogeneity)、アレル異質性 (allelic heterogeneity) 等の専門用語について説明できる。
10. 多面発現 (pleiotropy)、表現度 (expressivity)、浸透率 (penetrance) について具体例も含めて説明できる。
11. 体細胞モザイクと生殖細胞系列モザイクについて理解し、それらが遺伝性疾患の発症に及ぼす影響を説明できる。
12. ミトコンドリア DNA の変異によって生じる遺伝性疾患の特質を説明でき、この遺伝様式を持つ疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
13. ゲノムインプリンティングや X 染色体不活性化の本質およびその異常による遺伝性疾患を説明できる。
14. 塩基反復配列の延長による疾患および表現促進現象 (anticipation) の本質を説明でき、この部類に属す遺伝性疾患の診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
15. 染色体異常に基づく遺伝性疾患の発症機序につき説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
16. 先天性代謝異常症の発症機序を説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
17. 連鎖解析、連鎖不平衡解析、ゲノムワイド関連解析、エクソーム解析等を用いた遺伝性疾患の同定法について説明できる。
18. 個体発生の主な分子機構およびその異常により生じる疾患を遺伝子レベルで説明でき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
19. 生殖細胞系と体細胞系のそれぞれにおける遺伝子異常が引き起こす疾患の相違点を説明できる。
20. がん遺伝子、がん抑制遺伝子および DNA 修復遺伝子の機能を概説できる。
21. 腫瘍発生に関する遺伝要因と環境要因を概説できる。
22. 遺伝性腫瘍の本質に基づき、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。
23. 多因子疾患の特徴を理解し、診断および遺伝カウンセリングに応じられる。

24. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。
25. 遺伝子治療を、種々の手法の特徴を含めて説明できる。
26. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。
27. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。
28. がんの遺伝子検査と分子標的薬の選択法について説明できる。
29. 遺伝性疾患の診断のために临床上必要な遺伝学的解析方法を選択してその結果を的確に説明できる。
30. 新生児スクリーニング、保因者スクリーニング、および発病リスク検査等について意義、効果、および手技につき説明できる。
31. 出生前診断の意義、手法、解釈について説明できる。
32. 家系図を作成し、遺伝性疾患の再発率を Bayes の定理等を応用して評価できる。
33. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
34. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。

III 教育内容

教科書として福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学 第2版」 メディカル・サイエンス・インターナショナルを使用する。

○講義項目と担当者

	担当者
1. ヒトの遺伝学的多様性：変異と多型（第4章）	井上
2. 単一遺伝子疾患（第7章）	片山
3. 遺伝性疾患の分子遺伝学原理（第11章）	片山
4. ヒト疾患における遺伝学的基礎（第10章）	片山
5. 臨床細胞遺伝学と染色体異常（第5, 6章）	井上
6. 遺伝性疾患の分子細胞生物学的基礎（第12章）	井上
7. 多因子疾患の遺伝学・集団における遺伝学（第8, 9章）	片山
8. 遺伝性疾患の治療（第13章）	日高
9. リスク評価と遺伝カウンセリング（第16章）	日高
10. 個別化医療・遺伝医学の倫理的社会的課題（第18,19章）	日高
11. 出生前診断とスクリーニング（第17章）	南
12. 発生遺伝学と先天異常（第14章）	井上
13. 腫瘍遺伝学と腫瘍ゲノム学（第15章）	井上

IV 学習および教育方法

講義形式による。Power Pointスライド、板書、プリント、書画カメラ等を利用する。

V 評価の方法

1. 講義中に随時小テストを行うこともある。
2. 講義につき2 / 3以上の出席のない者は該当する試験を受けることができない（出席は名箋への署名により厳格に取り扱う。偽署名が判明した場合は3回分の欠席とみなす。天災、病気、事故、通学列車の運行遅延、忌引き等による欠席は公的証明書に基づき欠席扱いとはしない）。
3. 筆記試験結果を合計して最終点を計算する。小テストの結果の最終評価への繰り入れは、当該担当教員の判断による。

VI 推薦する参考書

- 福嶋義光 監訳 「トンプソン&トンプソン遺伝医学」第2版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 福嶋義光 監修、櫻井晃洋 古庄知己 編集「新遺伝医学優しい系統講義19講」メディカル・サイエンス・インターナショナル

- 村松正實、木南 凌、笹月健彦、辻省二 監訳 「ヒトの分子遺伝学」第4版 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 菅野純夫、福嶋義光 監訳 「ゲノム医学 ゲノム情報を活かす医療のために」 メディカル・サイエンス・インターナショナル
- 服部成介、水島一菅野純子 「よくわかるゲノム医学」 羊土社
- 渡邊淳 「診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学」 羊土社
- 水島一菅野純子 「マンガでわかるゲノム医学」 羊土社
- Jorde, Carey, Bamshad 「Medical Genetics」 Elsevier

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	2月27日	木	4	ヒトの遺伝学的多様性:変異と多型	分子遺伝	井上
2	2月27日	木	5	単一遺伝子疾患	分子遺伝	片山
3	3月5日	木	4	遺伝性疾患の分子遺伝学原理	分子遺伝	片山
4	3月5日	木	5	遺伝性疾患の分子遺伝学原理	分子遺伝	片山
5	3月12日	木	4	ヒト疾患における遺伝学的基礎	分子遺伝	片山
6	3月12日	木	5	ヒト疾患における遺伝学的基礎	分子遺伝	片山
7	4月9日	木	4	臨床細胞遺伝学と染色体異常	分子遺伝	井上
8	4月9日	木	5	臨床細胞遺伝学と染色体異常	分子遺伝	井上
9	4月16日	木	4	遺伝性疾患の分子細胞生物学的基礎	分子遺伝	井上
10	4月16日	木	5	多因子疾患の遺伝学・集団における遺伝学	分子遺伝	片山
11	4月23日	木	4	遺伝性疾患の治療	分子遺伝	日高
12	4月23日	木	5	リスク評価と遺伝カウンセリング	分子遺伝	日高
13	4月27日	月	4	個別化医療・遺伝医学の倫理的社会的課題	分子遺伝	日高
14	4月27日	月	5	出生前診断とスクリーニング	総合周産期母子医療	南
15	4月30日	木	4	発生遺伝学と先天異常	分子遺伝	井上
16	4月30日	木	5	腫瘍遺伝学と腫瘍ゲノム学	分子遺伝	井上

臨床実習日程
(2019年2月～)

周期	日 割 り	備 考
1	2月11日 ～ 2月22日	2/11振替休日
2	2月25日 ～ 3月8日	2/20開学記念日
3	3月11日 ～ 3月22日	3/21春分の日
4	3月25日 ～ 4月5日	
5	4月8日 ～ 4月19日	
6	4月22日 ～ 5月10日	4/29昭和の日、5/3憲法記念日 5/4みどりの日、5/6振替休日
7	5月13日 ～ 5月24日	
8	5月27日 ～ 6月7日	
9	6月10日 ～ 6月21日	
10	6月24日 ～ 7月5日	
11	7月8日 ～ 7月19日	7/15海の日
12	7月22日 ～ 8月2日	
13	9月2日 ～ 9月13日	
14	9月16日 ～ 9月27日	9/16敬老の日 9/23秋分の日
15	9月30日 ～ 10月11日	
16	10月14日 ～ 10月25日	10/14体育の日
17	10月28日 ～ 11月8日	11/4振替休日
18	11月11日 ～ 11月22日	
19	11月25日 ～ 12月6日	
20	12月9日 ～ 12月20日	
21	1月13日 ～ 1月24日	
22	1月27日 ～ 2月7日	
①	2月10日 ～ 2月28日	2/11建国記念の日、2/23天皇誕生日 2/24振替休日
②	3月2日 ～ 3月20日	3/20春分の日
休	3月23日 ～ 4月3日	春休み
③	4月6日 ～ 4月24日	
休	4月27日 ～ 5月15日	春休み及び臨時休業
④	5月18日 ～ 6月5日	
⑤	6月8日 ～ 6月26日	
⑥	6月29日 ～ 7月17日	

提出期限 令和2年11月25日

令和3年度6年生選択ポリクリ 院内各教室受入枠人数

期間(2W) 所属名	1	2	3	2週 受入	備考
	12/14 ~ 12/25	1/18 ~ 1/29	2/1 ~ 2/12		
[2クール受入パターン]		連続可	連続可	2クール目+3クール 目の連続2クール可 否	
内科学1	5名	5名	5名	不	
内科学2	6名	6名	6名	不	
内科学3	5名	5名	5名	不	
内科学4	5名	5名	5名	不	
神経精神医学	5名	5名	5名	不	
小児科学	5名	5名	5名	不	
皮膚科学	6名	6名	6名	不	
脳神経内科学	6名	6名	6名	不	
リハビリテーション科学	5名	5名	5名	不	
腎臓内科学	5名	5名	5名	不	
血液内科学	5名	5名	5名	可	
病理診断科	1名	1名	1名	可	
放射線医学	5名	5名	5名	不	
リウマチ・膠原病科学	5名	5名	5名	不	

令和3年度6年生選択ポリクリ 院内各教室受入枠人数

期間(2W)		1	2	3	2週受入	備考
所属名		12/14 ~ 12/25	1/18 ~ 1/29	2/1 ~ 2/12		
[2クール受入パターン]			連続可	連続可	2クール目+3クール目の連続2クール可否	
脳神経外科学		5名	5名	5名	可	
外科学1	心臓血管外科(※)	2名	2名	2名	可	※心臓血管外科は、成人心臓は2名可、小児心臓は1名まで
	呼吸器外科	2名	2名	2名	可	
	乳腺外科	1名	1名	1名	可	
外科学2		5名	5名	5名	可	
整形外科学		6名	6名	6名	可	
泌尿器科学		5名	5名	5名	不	
眼科学		5名	5名	5名	不	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学		5名	5名	5名	不	
産科・婦人科学		5名	5名	5名	不	
歯科口腔外科学		0名	0名	2名	不	
麻酔科学		5名	5名	5名	可	
救急集中治療部		7名	7名	7名	不	夜間及び土日に実習を実施する場合があります。
形成外科学		3名	3名	3名	不	
合計		125名	125名	127名		

内科系合計	69名	69名	69名
外科系合計	56名	56名	58名

基礎医学英語 < P M >

オーガナイザー

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

教 員 名

教養・医学教育大講座 英語 教授 廣田麻子

非常勤講師 勝又泰洋

遺伝子制御学研究部 Alvin Acebedo

大森千尋

I 一般学習目標

一般学術目的の英語力を磨き、習熟する。基礎的な一般学術英語を深く正確に読むこと、聞いて理解すること、医学論文執筆の基礎、発表の仕方の基礎を習得する。

II 個別学習目標

1. 基礎的な一般学術英語を正しく理解する
2. 基礎的な医療関連の記事の内容を理解する
3. 基礎的な医学論文の内容を理解する
4. 医療に関わる表現を聞いて理解する
5. 基礎的な学術目的のディスカッションをする
6. 医学論文の書き方の基礎を学ぶ
7. 学術英語語彙の語源を理解する
8. 学術英語語彙の語源の習得のためのラテン語とギリシア語の文法を理解する
9. 基礎的な国際保健の現場を知る
10. 基礎的な医療トピックを踏まえた実用英語に触れる

III 教育内容

- ・ 基礎的な総合医学英語を教授する
- ・ 臨床の場で使われる基礎的な英語の語彙を教授する
- ・ ギリシア語・ラテン語に触れながら、学術英語語彙の語源を教授する
- ・ 臨床の場で使われる英語の口語表現について教授する
- ・ 最新の発生医学研究を踏まえた Practical Medical English Lesson を教授する
- ・ 国際保健の現場の様子を教授する

IV 学習および教育方法

辞書を引いて予習することが必要である。

V 評価の方法

授業内試験 80%、提出物 20% で評価する。

VI 教科書・推薦する参考書

教科書：『総合医学英語テキスト step1』（メジカルビュー社）

参考書：吉田和彦『語源で覚える医学英語辞典』（東京：メジカルビュー社、1995年）

平井美津子『語源で学ぶメディカル・イングリッシュ 550』（東京：南雲堂、2011年）

講義日程表(基礎医学英語 廣田 勝又)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R2. 10. 27	火	4	医学英単語とその語源を学ぶにあたって(1)	英語	勝又
2	R2. 10. 27	火	5	医学英単語とその語源を学ぶにあたって(2)	英語	勝又
3	R2. 11. 6	金	4	国際保健	英語	大森・廣田
4	R2. 11. 6	金	5	Fever	英語	廣田
5	R2. 11. 10	火	4	生死にかんする英単語	英語	勝又
6	R2. 11. 10	火	5	異常にかんする英単語	英語	勝又
7	R2. 11. 13	金	4	Practical Medical English	英語	Alvin Acebedo・廣田
8	R2. 11. 13	金	5	Anemia	英語	廣田
9	R2. 11. 17	火	4	身体部位にかんする英単語(1)	英語	勝又
10	R2. 11. 17	火	5	身体部位にかんする英単語(2)	英語	勝又
11	R2. 11. 20	金	4	Dehydration	英語	廣田
12	R2. 11. 20	金	5	Obesity	英語	廣田
13	R2. 11. 24	火	4	身体部位にかんする英単語(3)	英語	勝又
14	R2. 11. 24	火	5	医学思想文献講読(1)	英語	勝又
15	R2. 11. 27	金	4	Headache	英語	廣田
16	R2. 11. 27	金	5	Chest Pain	英語	廣田
17	R2. 12. 1	火	4	治療にかんする英単語	英語	勝又
18	R2. 12. 1	火	5	医学思想文献講読(2)	英語	勝又
19	R2. 12. 4	金	4	Cough	英語	廣田
20	R2. 12. 4	金	5	まとめ	英語	廣田
21	R2. 12. 8	火	4	医学思想文献講読(3)	英語	勝又
22	R2. 12. 8	火	5	まとめ	英語	勝又

臨床実習後客観的臨床能力試験 (Post-CC OSCE) 実施計画

- 1 日 時 ◆本試験 令和2年7月28日(火) 9:00~12:09
◆再試験 令和2年8月 7日(金)
- 2 場 所 ◆実施会場 OSCE 研修室 (高度医療人育成センター4F)
- 3 受験者 ◆医学部6年生 98名 (追・再試験は該当学生のみ)

令和2年度 卒業試験第一回 解答

循環器系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

血液系

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

耳鼻咽喉科

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

歯科口腔外科

問題番号	解答
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

臨床実習

あなたは 学生課 臨床実習担当者 としてログインしています (ログアウト)

Home ▶ マイコース ▶ 学生評価 ▶ Polici ▶ 臨床実習 ▶ 臨床実習共通評価表2020年2月10日～ ▶ エントリを追加する

ナビゲーション

Home

- マイホーム
- サイトページ
- マイプロフィール
- 現在のコース
 - Polici
 - 参加者
 - バッジ
 - お知らせ
 - 臨床実習
 - 臨床実習共通評価表～2020年2月7日
 - 臨床実習共通評価表2020年2月10日～
 - 一覧表示
 - 個別表示
 - 検索
 - 臨床実習 (選択制)
- マイコース

管理

- データベース活動管理
 - エントリを追加する
- コース管理
- マイプロフィール設定

臨床実習共通評価表2020年2月10日～

一覧表示 個別表示 検索 エントリを追加する

新しいエントリ

記入者:

学生:

凡例: A.学生としてよくできるレベル B.平均的 C.不適切 X.評価不能

病歴聴取: A
 B
 C
 X

身体診察: A
 B
 C
 X

患者把握: A
 B
 C
 X

症例提示: A
 B
 C
 X

疾患の医学的理解: A
 B
 C
 X

コミュニケーション: A
 B
 C
 X

プロフェッショナルリズム: A
 B
 C
 X

アンプロフェッショナルな学生の評価

このままでは将来、患者の診療に関わらせることが出来ないと考えられる学生の具体的な行動や態度の内容 (詳細をお願いします)

バス p

HTMLフォーマット

※ 1人の指導医が提出する1枚の評価表で学生が毎年することはありませので、学生の態度・行動で気になる点があり、指摘しても変わらないようであれば、積極的に記入・提出いたたくよう、お願いいたします。

備考欄

バス p

HTMLフォーマット

保存して表示する 保存して次を追加する

あなたは 学生課 臨床実習担当者 としてログインしています (ログアウト)

Polici

- ナビゲーション
- Home
 - マイホーム
 - サイトページ
 - マイプロフィール
 - 現在のコース
 - PoliCii
 - 参加者
 - バッジ
 - お知らせ
 - 臨床実習
 - 臨床実習共通評価表～2020年2月7日
 - 臨床実習共通評価表2020年2月10日～
 - 一覧表示
 - 個別表示
 - 検索
 - 臨床実習 (選択制)
 - マイコース

- 管理
- データベース活動管理
 - エントリを追加する
 - コース管理
 - マイプロフィール設定

臨床実習共通評価表2020年2月10日～

2020年度臨床実習共通評価表

一覧表示 個別表示 検索 エントリを追加する

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18...241 (次へ)

1.病歴聴取 2.身体診察 3.患者把握 4.症例提示 5.疾患の医学的理理解 6.コミュニケーション 7.プロフェッショナリズム
凡例 : A.学生としてよくできるレベル B.平均的 C.不適切 X.評価不能

Gr. 学生	1	2	3	4	5	6	7	アンプロフェッショナルな学生の評価	コメント・備考欄	講座名
〇 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B		整形外科学	指導医
E 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B		知識が不足していましたが、礼儀正しく、実習に臨みました。着実に成長しました。	内科学 (4・循) 指導医
〇 田中 隆平	B	B	A	A	A	B	B		寡黙ですが、優秀です。はじめての臨床実習でしたが、見事な症例レポートを書き上げました。将来が楽しみな人材です。	内科学 (4・循) 指導医
E 田中 隆平	B	B	B	B	B	A	B		はじめての臨床実習で不安が大きかったようですが、医師、患者さんと良好な関係を築けていました。ひたむきさに好感を持ちました。	内科学 (4・循) 指導医
E 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B		初めての実習でしたが、指導医と良好な関係を築けていました。レポート作成に苦労しましたが、以後の診療科でも精度の高いレポートを書けるように頑張ってください。	内科学 (4・循) 指導医
F 田中 隆平	B	B	B	B	B	C	B		人とのコミュニケーションが苦手な印象を受けたので、自分から挨拶する、一言一言ははっきりとしゃべる、ときおり笑顔を見せる、など、今後の実習に役立つであろう姿勢を指導しました。	内科学 (4・循) 指導医
F 田中 隆平	C	C	B	B	B	B	B			外科学 (1) 指導医
F 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B			外科学 (1) 指導医
F 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B			外科学 (1) 指導医
I 田中 隆平	B	B	B	B	B	B	B			外科学 (1) 指導医

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18...241 (次へ)

1ページあたりのエントリ数 [10] 検索 [] 並び替え [] 追加日時 [] 昇順 [] 高度な検索 [] 設定を保存する

あなたは 学生課 臨床実習担当者 としてログインしています (ログアウト)

PoliCii

[受験生の方へ](#)[在学生の方へ](#)[卒業生の方へ](#)[企業・研究機関の方へ](#)[地域・一般の方へ](#)[大学案内](#)[学部・大学院等](#)[入試・入学案内](#)[図書館・関連施設](#)[研究・産官学連携](#)[附属病院](#)[ホーム](#) > [在学生の方へ](#) > [医学部生の相談ホットライン](#)

医学部生の相談ホットライン

学生生活を送っていく中で、勉学に関すること、健康に関すること、経済的なこと、人間関係など様々な悩みがあります。医学部では、担任制を設けていますが、直接担任と向かい合って相談しづらい内容であることも少なくありません。そういう場合は、この医学部生の相談ホットラインをご活用ください。

なお、相談内容により、相談者の了解を得たうえで、健康管理センター(体や心に関する悩み)や危機対策室(ハラスメントに関する悩み)などの学内の相談先を紹介させて頂く場合があります。

- 相談内容や個人情報等の秘密は守ります。
- 匿名でも相談できます。(ただし、匿名の場合、回答ができなくなりますので、必ず返信先メールアドレスを入力してください。)

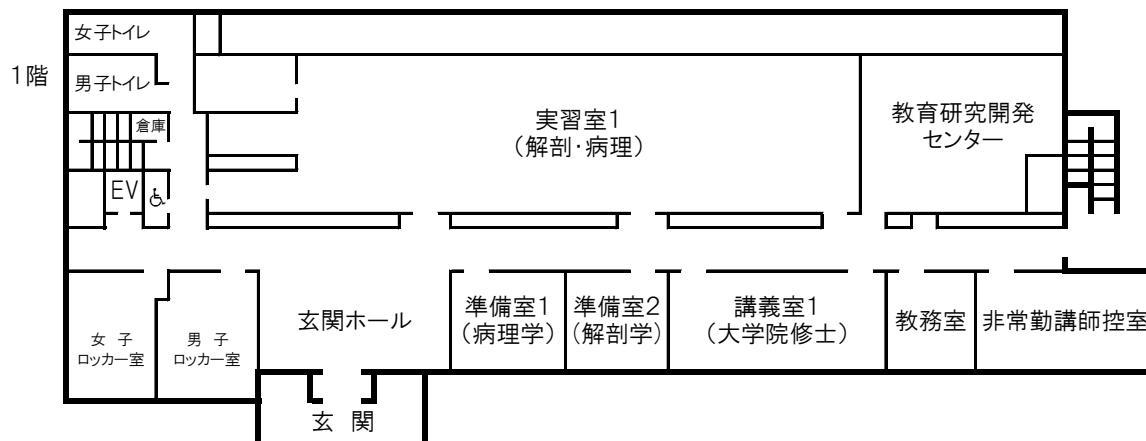
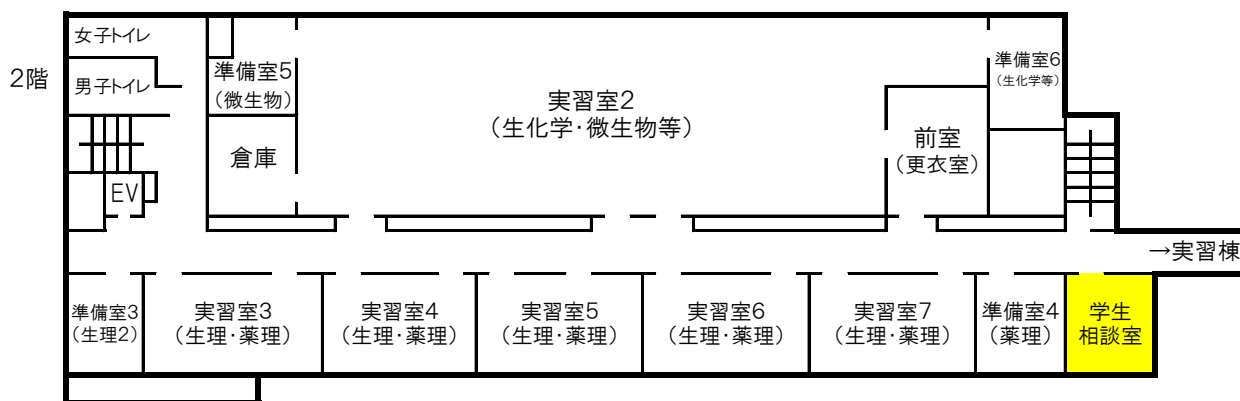
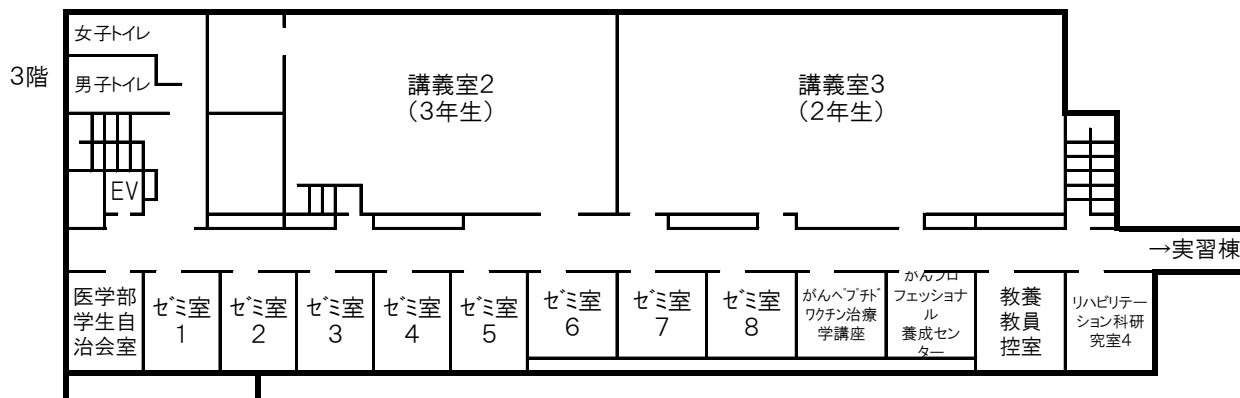
[医学部生の相談ホットライン](#)[利用する場合は、クリックしてください](#)[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [関連リンク](#) [学内向け案内](#)

担任制について

担任制の概要

- 1 対象学年は1年生・2年生とする。
- 2 1年生は教養、2年生は基礎系の教員を担当とする。
- 3 教員一人当たりの学生数を原則として10名未満とする。
- 4 留年生は教務学生委員会委員を担当とする。
- 5 担任の役割は以下のとおりとする。
 - (1) 修学面、生活面（経済的なものを含む）、健康面の相談窓口となる。
 - (2) 学生の修学、生活、健康上の状況を把握し、学生部長に報告する。
 - (3) 欠席が多い学生と面談を行う。
 - (4) 成績不振者と面談を行う。

基礎教育棟



医学部教員男女別人数(平成30年度～令和2年度)

平成30年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		337	46	51	88	152
	男	286	44	43	75	124
	女	51	2	8	13	28

女性の比率 15.1%

平成31年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		352	50	57	89	156
	男	295	48	47	78	122
	女	57	2	10	11	34

女性の比率 16.2%

令和2年4月1日

所 属	現 員		現員の内訳			
			教授	准教授	講師	助教
医学部		347	50	55	89	153
	男	286	47	45	78	116
	女	61	3	10	11	37

女性の比率 17.6%

和歌山県立医科大学教員選考規程

制 定 昭和 47 年 1 月 25 日 和医大規程第 1 号

最終改正 平成 27 年 6 月 5 日 和医大規程第 23 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における教授、准教授、専任の講師、及び助教（以下「教員」という。）の選考について必要な事項を定めるものとする。

(選考)

第 2 条 教員の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) 教員が定年又は任期満了により退職し、後任を採用する必要があるとき。
- (2) 教員からの退職の申出を理事長が受理し、後任を採用する必要があるとき。
- (3) 教員の増員又は上位職への振替えの必要があるとき。
- (4) その他教員が欠員となり後任を採用する必要があるとき。

(教授の資格)

第 3 条 教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する実務上の業績を有する者
- (4) 大学において教授の経歴のある者
- (5) 大学において准教授の経歴があり、教育研究上の業績があると認められる者
- (6) 芸術、体育等について、特殊の技能に秀で、教育の経歴がある者
- (7) 専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の資格)

第 4 条 准教授となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 前条に規定する教授となることができる者
- (2) 大学において准教授又は専任の講師の経歴がある者
- (3) 大学において 3 年以上助教又はこれに準ずる職員としての経歴がある者
- (4) 修士の学位又は学位規則第 5 条の 2 に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (5) 研究所、試験所、調査所等に 5 年以上在職し、研究上の業績があると認められる者
- (6) 専攻分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(専任の講師の資格)

第 5 条 専任の講師となることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第 3 条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) その他特殊な専攻分野について、教育研究上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

第6条 助教となることができる者は、次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力があると認められる者とする。

- (1) 第3条各号又は第4条各号のいずれかに該当する者
- (2) 修業年限を6年又は4年とする大学を卒業した者で、専攻分野について、十分な知識及び経験を有すると認められる者

(選考の方法)

第7条 教員の選考方法については、教育研究審議会において別に定める。

(規程の改正)

第8条 この規程の改正は、教育研究審議会の審議を経て学長がこれを行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年1月25日から施行する。
- 2 和歌山県立医科大学教員選考基準に関する規程（昭和24年和歌山県立医科大学規程第27号）は、廃止する。

附 則（平成16年4月1日和医大規程第78号）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日和医大規程第83号）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月23日和医大規程第29号）

- 1 この規程は、平成21年6月23日から施行する。
- 2 保健看護学部については、当分の間、第6条各号に定めるもののほか、修業年限を3年とする大学等を卒業した者で、専攻分野について十分な知識と経験を有すると認められる者を助教の資格とすることができる。

附 則

この規程は平成27年6月5日から施行し、改正後の和歌山県立医科大学教員選考規程の規定は、同年4月1日から適用する。

あんしんGUIDE

育児しながら、キャリアを 継続していくために 妊娠・出産・育児期に利用できる制度

妊娠・出産・育児期に利用できる制度

元よくキャリアを継続するために、少し先を見据えて計画してみてください

1. 産休に入るまで

●妊娠中の通勤緩和（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が請求した場合、通勤に利用する交通機関の混雑などで母体や胎児の健康維持に影響があると認められるときに利用できます。正規の勤務時間の始めまたは終わりに、1日を通じて1時間を超えない範囲内で必要と認められる期間利用可能です。

●つわり休暇（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員がつわりのため、勤務することが著しく困難であると認められる場合に、7日を超えない範囲で取得できます

●妊娠・産後の保健指導等（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が母子健康手帳の交付を受けてから産前休暇を受けるまでの間、または出産後の女子職員が出産後1年以内に医師、助産師等の保健指導及び健康診査を受ける場合に利用可能です

2. 産休入りから出産まで

●産前産後休暇（正規職員：特別休暇、準・臨時職員：無給休暇）

出産予定日以前8週間（準職員・臨時職員は6週間）（多胎妊娠の場合は14週間）の日から産後8週間を経過するまでの期間取得できます

●妊娠・産後の保健指導等（正規職員：特別休暇）

妊娠中の女子職員が母子健康手帳の交付を受けてから産前休暇を受けるまでの間、または出産後の女子職員が出産後1年以内に医師、助産師等の保健指導及び健康診査を受ける場合に利用可能です

●配偶者の出産（正規職員：特別休暇）

職員が妻の出産に伴い勤務しないことが相当の場合、出産のための入院などから出産後2週間以内で、3日の範囲内で利用できます

●出産手当金（準職員・臨時職員のみ）

健康保険の被保険者が出産のため会社を休み、その間に給与の支払いを受けなかった場合は、出産の日（実際の出産が予定日後のときは出産予定日）以前42日（多胎妊娠の場合98日）から出産の翌日以後56日目までの範囲内で、会社を休んだ期間を対象として出産手当金が支給されます

3. 出産から復帰まで

●育児休業（全職員：無給）

子が3歳（準職員・臨時職員は1歳）に達する日の前日まで取得できます。準職員・臨時職員は子が1歳に達する時点で、保育所等に入所できないなどの特別な事情がある場合に限り、6か月ずつ最長2歳まで延長できます

●男性職員の育児参加（正規職員：特別休暇）

職員の妻が出産し、出産予定日の8週間（多胎妊娠の場合は14週間）前の日から出産後8週を経過する日までの期間で、当該出産に係る子、または小学校始期に達するまでの子を養育する場合に5日の範囲内の期間取得できます

●育児休業給付金 産休に入って約2か月後に総務課給与班から連絡をします（雇用保険加入者）

育児休業を取得した場合に一定の要件を満たすと、雇用保険から休業開始時の賃金月額67%の額（6か月後からは50%）の給付を受けることができます。支給期間は子の1歳の誕生日の前々日までです。ただし、1歳の誕生日の前日後、保育所における子の保育の実施が困難な場合等の特別な理由がある場合、1歳の誕生日の前々日から6か月後まで延長

※このほかにも、正規職員の場合は組合や互助会からの出産費用や祝金などの支給があります。詳細は学内ページに掲載していますので、ご確認ください

4. 育児と仕事の両立を支援する制度

●育児短時間勤務（正規職員）

小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合に利用できます。

いくつかの勤務パターンから選択できます

※詳細は総務課人事班へお問合せください

●育児時間休暇（正規職員：特別休暇、準職員：無給休暇）

子が3歳に達する日の前日まで1日2回各60分又は1日1回120分請求できます

●育児のための早出遅出勤（正規職員）

小学校始期に達するまでの子を養育する場合に利用できます。正規の勤務時間内で、いずれかの勤務パターンから選択できます

●育児部分休業（正規職員・準職員・臨時：休業時間は給与減額）

小学校就学の始期（準・臨時職員は3歳）に達するまでの子を養育する場合、勤務時間の始めまたは終わりに1日2時間、30分単位で取得できます（育児時間休暇と併用の場合併せて2時間まで取得可能）

●時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限

（勤務時間規程第8条の3、準職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条、臨時職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条に該当する方）

小学校始期に達するまでの子を養育する職員が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外勤務が制限、または一切の時間外勤務が免除されます。また、深夜（午後10時から翌日の午前5時まで）の勤務が制限されます

●子の看護休暇（正規職員：特別休暇、準職員・臨時：無給休暇）

子が15歳に達する日以後最初の3月31日（準・臨時職員は小学校就学始期）まで1暦年に5日の範囲内で取得できます（対象となる子が2人以上の場合は10日）

和歌山県立医科大学内のお問合せ先

キャリア継続に関するご相談
保育園（クレヨン保育園ふくむ）等に関するご相談
本パンフレットの内容に関する質問など

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ✉ worklife@wakayama-med.ac.jp

妊娠期～復帰後に利用できる休暇等の
制度に関するご質問など

総務課 人事班 電話：073-441-0711

育児休業給付金に関するご質問

総務課 給与班 電話：073-441-0712

幼稚園・保育園などに関する行政の窓口

和歌山市 保育こども園課

電話：073-435-1064 ✉ hoiku@city.wakayama.lg.jp

海南市 暮らし部 子育て推進課 保育係

電話：073-483-8582 ✉ kosodate@city.kainan.lg.jp

有田市 市民福祉部 福祉課

電話：0737-83-1111

※その他の地域に関しましては、各ホームページをご確認ください



元よくキャリアを
継続するために、
少し先を見据えて
計画してみてください

公立大学法人

和歌山県立医科大学

ワークライフバランス支援センター

妊娠判明

母子手帳
を取得

産前休暇
前に

産前休暇直前
勤務最終日

出産

産休・育休中

復帰直前～復帰後

利用できる制度

1. 産休に入るまでに利用できる制度

- 妊娠中の通勤緩和
(正規職員：特別休暇)
- つわり休暇
(正規職員：特別休暇)
- 妊娠・産後の保健指導等
(正規職員：特別休暇)

2. 産休入りから出産までに利用できる制度

- 産前産後休暇
(正規職員：特別休暇)
(準・臨時職員：無給休暇)
- 妊娠・産後の保健指導等
(正規職員：特別休暇)
- 配偶者の出産
(正規職員：特別休暇)
- 出産手当金
(準職員・臨時職員のみ)

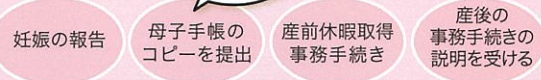
3. 出産から復帰までに利用できる制度

- 育児休業
(全職員：無給)
 - 男性職員の育児参加
(正規職員：特別休暇)
 - 育児休業給付金
(雇用保険加入者)
- 育児休業給付金については、育休に入って約2か月後に総務課給与班から連絡をします

4. 育児と仕事の両立を支援する制度

- 育児短時間勤務 (正規職員)
- 育児時間休暇 (正規職員：特別休暇、準職員：無給休暇)
- 育児のための早出遅出勤務 (正規職員)
- 育児部分休業
(正規職員・準職員・臨時：休業時間は給与減額)
- 時間外勤務の制限・時間外勤務の免除・深夜勤務の制限
(勤務時間規程第8条の3、準職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条、臨時職員勤務時間規程第4条、同5条、同6条に該当する方)
- 子の看護休暇
(正規職員：特別休暇、準職員・臨時：無給休暇)

分娩予定日が記載されている箇所をコピーしてください



特別休暇願 (様式1-2)を総務課人事班へ提出 (看護部職員は看護部管理室へ)

報告の際に本人・所属双方が確認すること

- 出産後も働き続ける?
- 育児休業はどのくらい取得する?

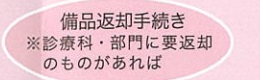
これらのことは、すぐに決められないこともあるかもしれませんが、妊娠中に今後のキャリアプランを大まかにでも決めておくと、復帰後のスタートがスムーズです

復帰後の託児先の検討について

- どこに託児したい?
- 何月から入園を希望する?

復帰後の子どもの託児先は少しずつ考えはじめておくと、いざ復帰時期を決めたときにスムーズです。保育園等の応募期間の確認をこの時期に一度しておくこともオススメです

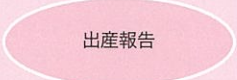
具体的に復帰時期を考えられているのであれば、早めに保育園や託児所の検討や見学しておくことをオススメします



<看護部は…>

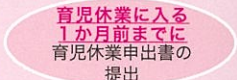
- ロッカー鍵 (最終更衣後、ロッカー清掃して返却)
- スマートフォン
- 徽章 (箱に入れた状態で一旦返却)
- マタニティ白衣

【クレヨン保育園利用希望者】
入園時期の連絡・手続きの問い合わせ

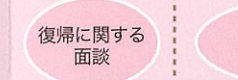


<看護部は…>
看護部管理室に電話で報告する

出産予定日より分娩日が遅くなった場合は、特別休暇願を追加提出する必要があります



※ 役所に届出済みの母子手帳のコピー (「出生届出済証明」)の添付が必要です



<看護部は…>
看護部職員は2～3か月に1回程度の面談で復帰日程を確定する

【クレヨン保育園利用希望者】
「和歌山県立医科大学附属病院託児施設入所申込書」を提出、クレヨン保育園にて面談

【その他の託児施設】
復帰時期に合わせて施設見学・面談・入園申請などしておく



【保育園を利用する場合】
復帰前ならし保育

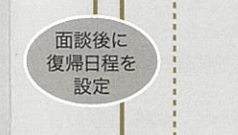
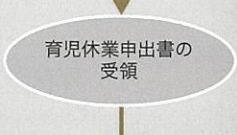
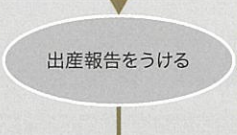
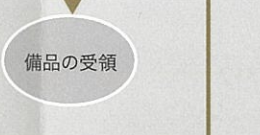
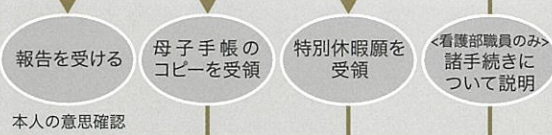


あなたまたはあなたの家族

診療科 所属部門

支援センター ワークライフ

事務

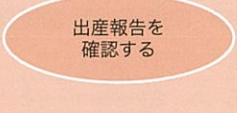
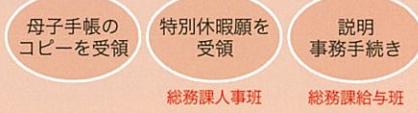


妊娠・出産から復帰に関する情報提供

【クレヨン保育園利用希望者】
クレヨン保育園に関する入園手続き、入園までの流れを説明

復帰に向け状況や不安なことがないか確認する

【クレヨン保育園利用希望者のみ】
「入所決定通知書」の送付



クレヨン保育園

こあんない



お問合せ先

クレヨン保育園に関するご相談
キャリア継続に関するご相談

ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876 ① worklife@wakayama-med.ac.jp

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

見学申込み

和歌山県立医科大学附属病院託児施設

クレヨン保育園

電話：073-447-2367

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768-9



入園をご希望の場合の手続きについて

入園までの流れ

復帰する時期を考え始めたら…

託児施設運営委員会の定める期間内に申込 ※期間は毎年変わります ホームページをご確認ください ※ 期間外の申込についてはお受けできない可能性があります 入園に関しては、 ワークライフバランス支援センターにご相談ください	保育園の見学(希望者のみ) 入園申込書の提出	見学日程の調整は、園に直接ご連絡ください <提出先> 全職種： ワークライフバランス支援センター
入園の3～2か月前まで	面接	事前にワークライフバランス支援センターから連絡があり、クレヨン保育園で面接を行います
入園の2か月前頃	入園決定通知	ワークライフバランス支援センターから入園決定通知書が届きます
入園の1か月前	慣らし保育	特別な事情がない限り、入園前に短時間の保育を行います

入園

・入園は託児施設運営委員会で審査のうえ決定いたします。予めご了承ください。

見学希望は
クレヨン保育園に
ご連絡ください

和歌山県立医科大学附属病院託児施設
— クレヨン保育園 —

電話：073-447-2367
〒641-0012
和歌山市紀三井寺768-9

入園申込に関する
お問い合わせはこちら
ワークライフバランス支援センター

電話：073-441-0876
〒641-8509
和歌山市紀三井寺811-1
worklife@wakayama-med.ac.jp



入園児童以外が利用できるサービス

一時保育

対象：入園児童以外の児童(ただし、受け入れに余裕がある場合にのみ実施します)
※利用資格のある就学前の未就園児を持つ職員が、研修などのため週休日に出勤する必要がある場合に利用できます。

- 保育時間：8時30分～19時30分
私的な用事での利用は不可です。
利用日の2週間前までにワークライフバランス支援センターにお申込みください
- 保育料(給食代 ※上限なし、実食分を徴収します)

年齢	1時間当たりの料金	給食代(1食あたり)
0歳児	600円	380円
1～2歳児	500円	
3～5歳児	400円	

学童お泊り保育

対象：附属病院に勤務する、看護部職員ならびに教員(医師)、学内助教(医師)、研修医、医療技術職員(正規職員のみ)が養育する小学校1年生から6年生までの児童。
なおかつ、和歌山市および近隣市町に在住の方に限ります。
※インフルエンザなど感染症に罹患中はお預かりできません。学校に登校できている状況でお預かり可能です。

- 定員：3名
- 保育時間：19時30分～翌日7時15分(翌日が日曜日の場合は11時00分まで)
- 利用料金：3,000円/回[お泊り用レンタル寝具あり(有料500円)]

食 事：①夕食…持参または保育園でお弁当を注文(有料)

②朝食…持参または保育園で準備(有料100円)

送 迎：保育園での送迎は行いません。

保護者や親族による送迎、送迎タクシーの利用、ファミリーサポートセンターの利用等保護者において児童にあった送迎を手配してください。

民間など送迎サービスの情報は、

学内ホームページ(トップメニュー→「ワークライフバランス」)に掲載しています。

※学童お泊り保育のご利用には事前登録が必要です。

「学童保育利用者登録書」(用紙の請求はワークライフバランス支援センター：5706までご連絡ください)に必要な事項を記入し、利用開始予定月の前月1日(休日の場合は翌平日)までに、ワークライフバランス支援センターまでご提出ください。

※初めての利用で児童が不安にならないよう、「学童保育利用者登録書」を提出後に面談日程調整をおこない、初回の利用までにクレヨン保育園担当者が面談します。

災害時の避難経路について

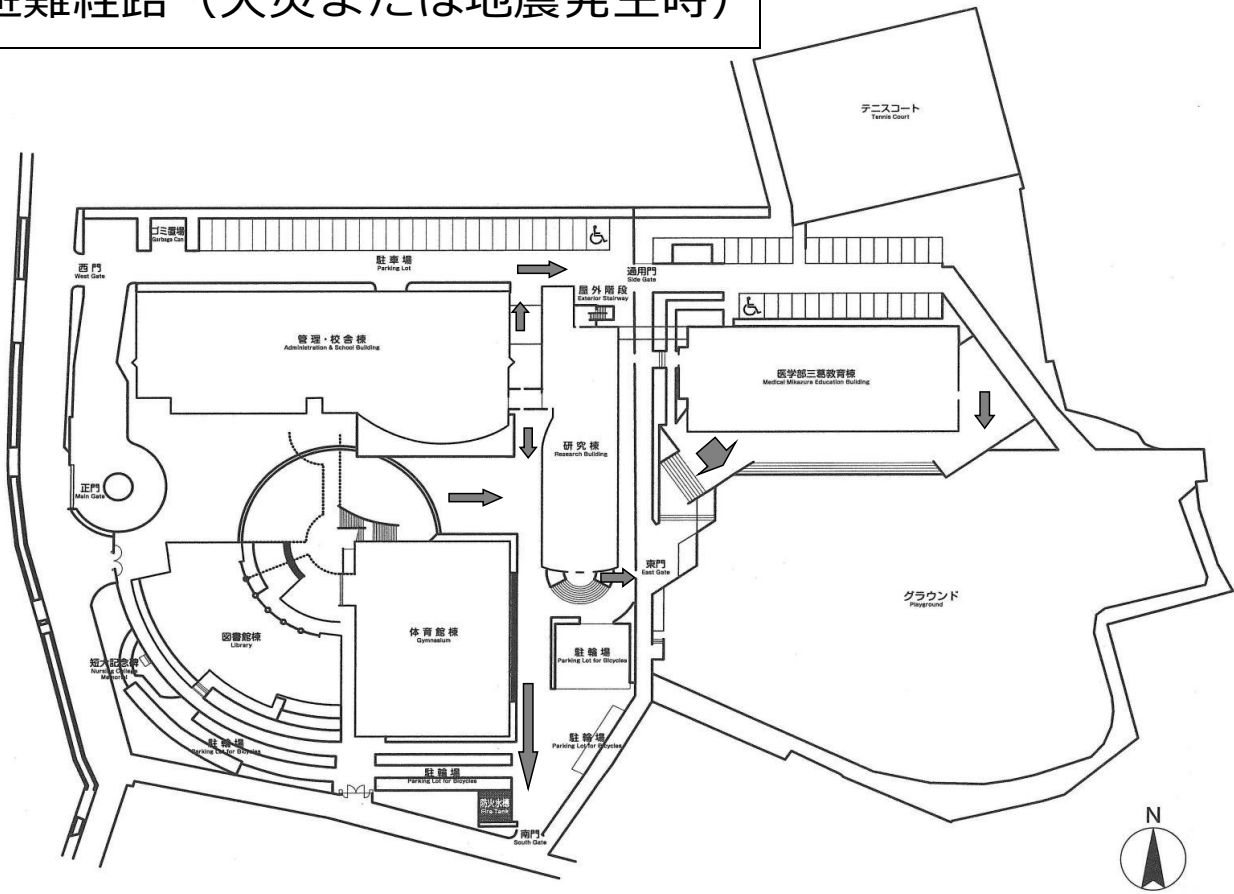
- 災害のパターン 火災（本学、近隣）・地震・津波・風水害
 <本学部体育館：災害時（津波を除く）の避難場所>
 - 火災発見時には、
 火災報知器（消火栓と一緒に）を押して、学内に知らせてください。
 火災が小さいうちは、近くの消火器などを使って初期消火を！
 - 避難時には、協力して、安全に避難すること。
 - 避難経路は、次ページのとおり。
 ※特に南門を出たところの通路は車の通行があるので、学生同士で安全確認を行うこと。
 - 避難場所は、火災、地震の場合には、【グラウンド】を基本とする。
 - 火災の発生状況によるが、
 荷物は持たない
 エレベーターは使用禁止
 煙の中では姿勢を低く
 火災現場に戻らない
 - 防火シャッターは、煙感知器が反応すると降りることとなっている。
 シャッターは非常に重くなっています。シャッター事故に注意！
 シャッターが降りかけているときには、あわてずに横の非常口から逃げること
 - 避難したら、教職員による点呼に応えること。
 - けが等の方は、申し出ること。
 - 避難場所においては、教職員の指示に従うこと。
- ※勝手に避難場所から離れないこと。

◇注意◇



左の写真の様なボタンは【通報器】です。
 ※火災以外の緊急通報に使用します。

避難経路（火災または地震発生時）



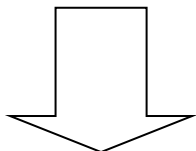
避難経路（津波発生時）



避難方法（地震、津波）フローチャート

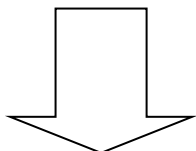
①地震発生

緊急地震速報の受信,防災無線等で確認できれば校内放送を行う。



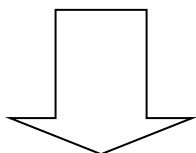
②安全の確保（初期対応）

落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に身を寄せる



③グラウンドへの避難

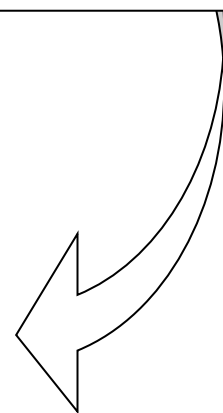
ラジオ・テレビ、防災無線等からの情報収集により、津波警報の発令の確認



④高台への避難（津波警報発令時）

津波発生時の避難ルートにより高台への避難を行う

地震発生と同時に津波
警報が発令された場合



津波避難の3原則

1. 想定にとらわれるな
2. 最善を尽くせ
3. 率先避難者たれ

学生カルテ操作演習マニュアル

1 a. テスト患者の検索

ID入力で患者ID90000102「テスト102」を検索する。

ID=90000102
または氏名で「テスト」
で検索する。

1 b. 学生カルテの起動

対象の患者の電子カルテを開き、ランチャから「学生カルテ」を起動する。

カルテを選択

表示されていない場合はスクロールする

1c. ワークフロー画面へ

DocuMakerが起動したらワークフロー画面へ

このウィンドウは無視する
(現在削除申請中)

ワークフロー画面へ

ここからは学生カルテは書けません

2. ワークフロー作成

ワークフロー作成せずに学生カルテは作れません

3. 文書追加画面呼び出し

文書追加を押してカルテを選択

カルテとサマリの2種類のどちらかを選択

4. ワークフローに必要な情報を入力して依頼登録

文書種類を患者情報、診療科、指導医を選択
演習では「神経内科 村田頭也」を追加

名前で検索できる

検索を押すと患者氏名が自動入力される

指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力

ワークフロー参加者を入れる。自分は選択済みなので指導医を追加する。

指導医は複数人選べる

最後に押す

5. ワークフローから記載画面を開く
 記入したいワークフローをダブルクリックして編集

6a. カルテを作成する (演習)
 今回は練習でPACSからMR画像を貼り付ける。

6b. カルテを作成する (演習)
 電子カルテ (MegaOak) のウィンドウに切り替える

6c. カルテを作成する (演習)
 電子カルテの画面からPACSを起動

6d. カルテを作成する (演習)
 PACSからMR画像を開く

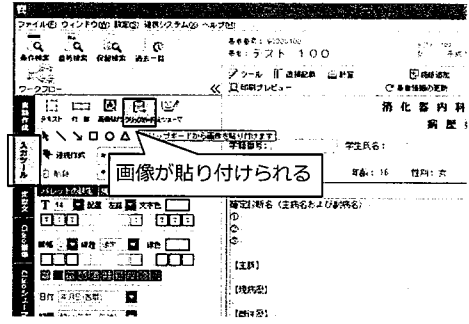
6e. カルテを作成する (演習)
 タスクバーのTryshotでキャプチャー開始する

6f. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする



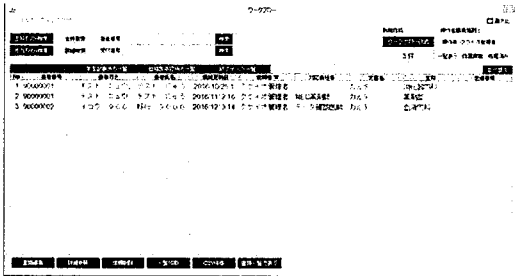
変化したカーソルで
このあたりを範囲指定

6g. カルテを作成する (演習)
MRの画像をキャプチャーする

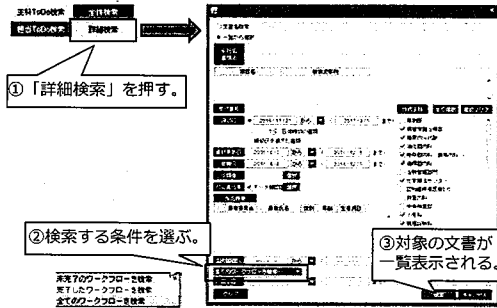


指導医に提出 (演習はここまで)

7. 指導医から差し戻しがあった場合
一覧に赤字で表示されるので開いて修正する



8. 完了したカルテの検索方法
指導医に承認されたカルテは詳細検索で確認できる。



令和2年度臨床実習関係暦

※()は臨床実習の周期
○数は6年次臨床実習(予定)

令和2年(2020年)

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1	1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25	10	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31	1	23	24	25	26	27	28	29	29	30	31	1	2	3	4
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	1	2	31	1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31	1	24	25	26	27	28	29	30	26	29	30	1	2	3	4
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)
(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1	30	31	1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31	1	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	1	2	3
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)
(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)
(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)
(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)
(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	29	30	1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30	1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1	2
(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)
(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)
(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)

令和3年(2021年) 1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
休	27	28	29	30	31	1	2	31	1	2	3	4	5	6	28	1	2	3	4	5	6
休	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
(21)	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
(21)	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
(22)	24	25	26	27	28	29	30	28	1	2	3	4	5	6	28	29	30	31	1	2	3
(22)	31	1	2	3	4	5	6	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)

4月							5月							6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
休	28	29	30	31	1	2	3	2	3	4	5	6	7	8	30	31	1	2	3	4	5
(3)	4	5	6	7	8	9	10	9	10	11	12	13	14	15	6	7	8	9	10	11	12
(3)	11	12	13	14	15	16	17	16	17	18	19	20	21	22	13	14	15	16	17	18	19
(3)	18	19	20	21	22	23	24	23	24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26
臨	25	26	27	28	29	30	1	30	31	1	2	3	4	5	27	28	29	30	1	2	3
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)

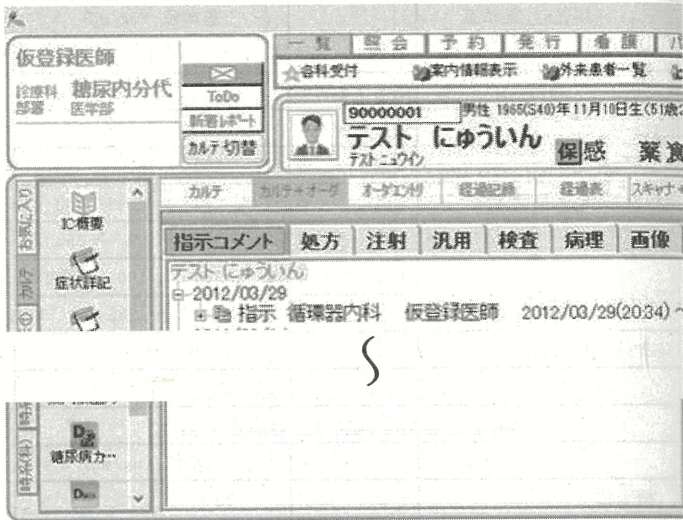
7月							
日	月	火	水	木	金	土	
(6)	27	28	29	30	1	2	3
(6)	4	5	6	7	8	9	10
(6)	11	12	13	14	15	16	17

目次

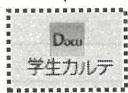
* 臨床実習にあたって	1
* 臨床実習上の注意事項	5
* 臨床実習評価表	9
* 誓約書	10
* 臨床実習日程	11
* 組分け&実習表	12
* 各科臨床実習要領	
○内科学(1)	16
△内科学(2)	19
○内科学(3)	21
□内科学(4-循)	24
◇神経精神医学	26
●小児科学	28
□外科学(1)	32
△外科学(2)	34
◆脳神経外科学	36
○整形外科	38
■皮膚科学	40
☆泌尿器科学	42
▲眼科学	44
▲耳鼻咽喉科学	46
■放射線医学	48
●産科・婦人科学	50
★麻酔科学	52
◇歯科口腔外科学	54
◆脳神経内科学	56
○リハビリテーション医学	59
◇血液内科学	61
☆腎臓内科学	63
★救急・集中治療医学	65
◇病理診断科	67
◇臨床検査医学	69
▲形成外科	71
○リウマチ・膠原病科	73
* 臨床検査の基準値	
* 学生カルテ操作方法	98
* 臨床実習において許容される基本的医行為	101
* 受け持ち患者一覧	102

学生カルテ操作方法

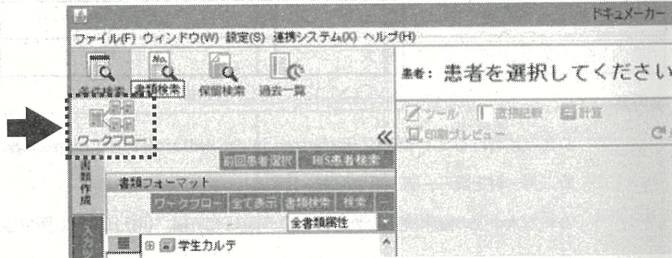
1. 患者のカルテ画面の左側「カルテ」メニュー下部の「学生カルテ」をクリック



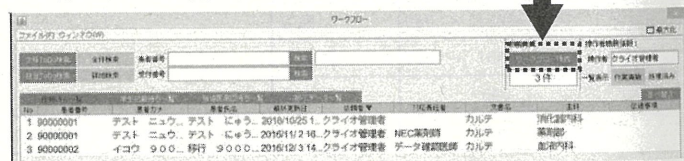
「学生カルテ」がない場合はスクロール



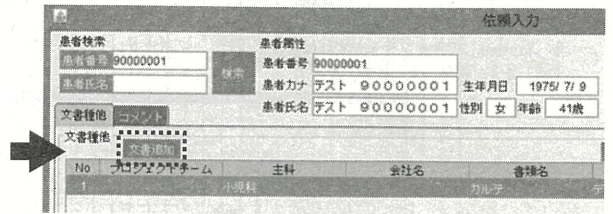
2. 立ち上がったドキュメントの「ワークフロー」をクリック



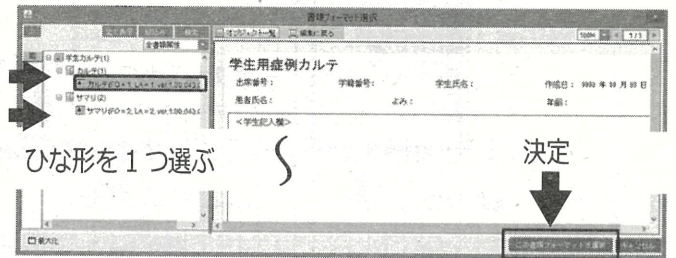
3. 「ワークフロー」を新規作成
※ワークフローを作成せずに学生カルテは作れません。



4. 依頼入力画面で「文書追加」をクリック



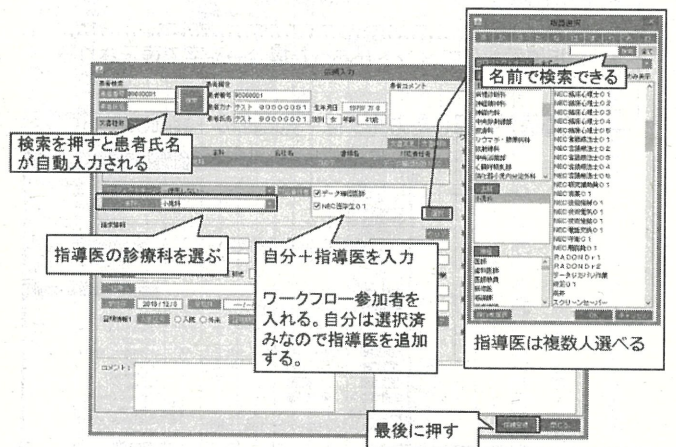
5. 書類フォーマット選択画面で「カルテ」や「サマリ」などひな形を選択



ひな形を1つ選ぶ

決定

6. 依頼入力に必要情報を入力して「依頼登録」をクリック



検索を押すと患者氏名が自動入力される

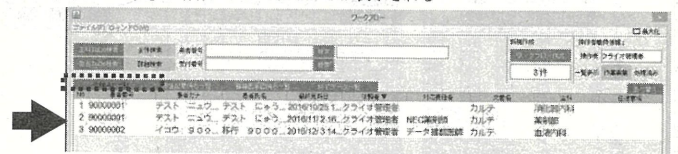
指導医の診療科を選ぶ

自分+指導医を入力
ワークフロー参加者を入れる。自分は選択済みなので指導医を追加する。

指導医は複数人選べる

最後に押す

7. ワークフロー一覧画面から作成したワークフローをダブルクリックして編集へ
「依頼待ち一覧」に作成したワークフローが表示される



ダブルクリックで編集画面へ

その他

和歌山県立医科大学の学内ページです。(学内LANからのアクセスのみ参照が可能です。)

人事・給与関係
広報関係
ワークライフバランス
研究支援
学内LAN関係 (ネット・メール等)
医療情報システム
教授会情報
各申請書等様式
大学評価関係
医学教育分野別評価関係
病院機能評価関係
薬学部設置関係
本学出身者のデータベース
その他

高度医療人育成センター5階 研修室の予約

- [予約・使用上の注意](#)
- [予約表](#)
- [予約方法説明](#)
- [申請書](#)

次世代医療研究センター1階 セミナー室の予約

- [予約・使用上の注意](#)
- [予約表](#)
- [予約方法説明](#)
- [レイアウト](#)

国際交流センターからのお知らせ

- [フルブライト奨学生募集について](#)

Eラーニングシステム

- [学内専用Eラーニングシステム](#)
(Google Chrome・Chromium版Edgeには対応していません)

学内eラーニングシステム

あなたは現在ゲストアクセスを利用しています ([ログイン](#))

日本語 (ja)

ナビゲーション

- Home
- ▶ [サイトページ](#)
- ▶ [コース](#)

コース一覧



臨床実習

臨床実習指導医用コース

カレンダー

2021年 06月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

あなたは現在ゲストアクセスを利用しています ([ログイン](#))



自己評価委員会

教育研究開発センター

センター長(専任教授) 副センター長(各学部専任教員)

運営委員会

教育研究開発部門

部門長
(センター長兼務)

副部門長
(本学専任教員)
※部門長指名

1. 教務 2. カリキュラム 3. 分析・評価

教育研究開発部門部会

カリキュラム専門部会: カリキュラムの実施体制
カリキュラム編成・改善、開発
カリキュラム全般、その他

臨床技能教育部会: 臨床技能教育の方針及び研究
臨床技能教育全般、その他

教育評価部会: 大学教育の評価方法の研究
学生の評価方法の研究
教員の授業評価、その他

FD部会: 授業内容・方法の改善及び開発
セミナー、講習会及び教員研修の企画・実施
授業改善全般、その他

教養教育部門

部門長
(教養担当教授)
※センター長指名

副部門長
(教養担当教員)
※部門長指名

1. 医学部および保健看護学部の教養教育に係る企画、立案及び実施
2. 医学部および保健看護学部の教養カリキュラムに実施体制及び講義・講師の調整
3. その他部門の目的を達成するための事項

教養教育検討委員会

部門長(委員長)、副部門長(副委員長)、
部門を組織する教授

医学部長、保健看護学部長、教育研究開発センター長
その他部門長が必要と認めた者

Certificate for Medical Clerkship

After having passed the premedical examination the medical student

(Name) [redacted]

Born on [redacted] in

Has performed a medical clerkship in the following field(s):

- 1. Emergency and Critical Care Medicine
- 2. Surgery I (Thoracic and Cardiovascular)

The uninterrupted clerkship was between Apr. 6, 2016 and
... Apr. 28, 2016

811-1 Kimiddera, Wakayama city, Location
Japan

..... May 19, 2016 Date

Wakayama Medical University

.....
(Name of Institution)

Official seal

For Surgery I

For Emergency and Critical Care Medicine

Yoshitaka Okamura
.....

Sayu Kato
.....

Signature of training physician



ホーム > 外来受診のご案内 > 診療スケジュール

診療スケジュール（外来診察医担当表）

令和3年4月1日現在

当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。
担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

■ 総合診療

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
2診		(総合診療) 廣西	種原外来 (河井)	総合診療(循環器) 羽野	(総合診療) 廣西		総合診療・センター長 (認知症センター) 廣西		総合診療(循環器) 羽野	
3診	種原外来 (河井)		(呼吸器) 堀		泌尿器外来 (稲垣武) [2・4週]	(肝臓) 佐藤				
4診		皮膚科 神人 瀧田 [第2週]	(脳神経内科) 梶本		(脳神経内科) 梶本		リウマチ膠原病 応接医師 [第2週]		(放射線科) 中井	
新患5診	丹羽		山野		応接医師		河井		堀	
外科診								櫻井 (第3週除く)		

■ 脊椎ケアセンター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
6診		脳外 大岩		脳外 上野 [第1週]	脳外 大岩		脳外 大岩			脳外 大岩
7診	整形 延興		整形 中川	足の専門外来 浅井[奇数週]	骨粗鬆症外来 寺口		整形 延興		整形 中川	
8診	整形 原田		整形 寺口		整形 北山		整形 原田		整形 北山	
リハビリテーション科	隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		隅谷	
	南方		南方		南方				南方	

■ 眼科/小児科

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
眼科	白井 (しらい)	(偶数週) 白井 [奇数週] 鈴木	白井 (うすい)	[第1週] 雑賀 [第2週] 岩西 [第3週] 岡田 [第4週] 西 [第5週] 住岡	永井	子ども外来 (白井 しらい)	白井 (しらい)	鈴木	小門	術前外来
	小門		黄斑外来 (小門)	白井 (うすい)	白井 (うすい)		鈴木		永井	
小児科	青柳		樋口		青柳		青柳		青柳	

■ 認知症疾患医療センター

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
認知症疾患医療センター		大岩				廣西	廣西		梶本	

診察受付 月曜～金曜：午前8時45分～11時30分
※第1週の水曜日午後は、加算医師が救急対応

※ このページのトップへ

著作権・リンクについて 免責事項

〒649-7113
和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

電話番号(代表)
0736-22-0066
電話番号のお掛け間違いにご注意ください

紀北分院予約センター
0736-22-4600
電話番号のお掛け間違いにご注意ください
▶ 予約センター登録 QR コード



当院は、病院機能評価機構認定病院です。

令和 年 月 日

教育研究開発センター長 様
(学生課扱い)

授業評価に係る改善計画等について (回答)

講 義

○ 所 属 :

○ 職 氏 名 :

○ 担当科目 :

※ 評点が低い項目や前回と比して著しく低い項目がある場合、該当項目欄に「改善計画」を御記入願います。

※ 「全般」欄には評点に関係なく、すべての教員において「目標等」を御記入願います。

全 般	全体を通して (下記項目以外)
改善計画・ 目標等	
質問項目 1	授業の開始時間に対し散漫でなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか?
改善計画等	
質問項目 2	授業の構成、内容は十分準備されていましたか?
改善計画等	
質問項目 3	授業はわかりやすかったですか?
改善計画等	
質問項目 4	授業の内容に興味を持つことができましたか?
改善計画等	
質問項目 5	授業の内容が教育要項に準拠していましたか?
改善計画等	

○ 学生による授業評価について

教育内容の充実や教授法の改善に役立てるため、学生による授業評価を実施する。

1. 評価対象
3コマ以上の講義を担当する教員（教授、准教授、講師、非常勤講師、助教）
2. 評価項目
下記「授業評価」参照
3. 実施方法・時期
担当教員の最終授業の終了後及び実習、試験の終了後
回答用紙の配布・回収・集計等については別途定める。
4. 活用方法
授業担当教員へ評価をフィードバックして、次年度以降の授業の改善に役立てる。
5. 通知・閲覧・公表
学生課において、集計結果を保管するとともに、集計終了後、速やかに担当教員に通知する。
授業評価については、医学部長、学生部長、入試教育センター長、教育研究開発センター長が総括を行い、公表する。全教員の個別の結果は学内ホームページに掲載する。
6. その他
各教員の講義に関する評価の他、実習（臨床実習を含む）及び試験についても評価する。
教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力又は記入すること。

※学生による授業評価の実施方法・内容については、教育研究開発センター教育評価部会において検討し、改訂することがある。

授業評価

教科 _____

担当教員氏名 _____

設問1～5について当てはまるところにをしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 授業の開始時間に対し散漫で無く、授業内容に
対しての時間配分は適切であった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 2 | 授業の構成、内容は十分準備されていた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 3 | 授業は分かりやすかった。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 4 | 授業の内容に興味を持つことができた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 5 | 授業の内容が教育要項に準拠していた。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> | ⑤ <input type="checkbox"/> |
| 6 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とする場合があります。

実験・実習評価

実習科目名 _____

設問1～17については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | |
|----|--|----------------|
| 1 | 実験・実習の必要性や位置づけが明確であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 2 | 実験・実習内容の分量は適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 3 | 実験・実習のレベルは適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 4 | 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 5 | この実験・実習で学んだことは今後役に立つ。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 6 | 教員の熱意や意欲を感じた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 7 | 説明の仕方は分かりやすかった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 8 | 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 9 | 実験・実習に必要な設備・器具は整っていた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 10 | 実験・実習上の注意事項について十分な説明があった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 11 | 学生からの質問に対して適切な指導があった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 12 | 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分であった。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 13 | 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト（プリント含む）は役に立った。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 14 | この実験・実習に積極的に参加できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 15 | 原理や操作手順を十分に理解して実験・実習に臨むことができた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 16 | レポート・スケッチを自分自身で作成できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 17 | 実験・実習の内容を理解できた。 | ①□ ②□ ③□ ④□ ⑤□ |
| 18 | この実験・実習について、改善してもらいたい点を含め、長所・短所等を自由に記載（マークシート裏面に記載）してください。 | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず記入してください。

※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

臨床実習評価

診療科 _____

設問1～16については当てはまるところに☑をしてください。

A. 指導医について

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 指導医と討論する時間が充分にあった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 親切に接してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | 問題点を見つけるよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 4 | 時間を厳守するよう適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 5 | 実習中の最終目標を明確に示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 6 | 毎日の目標を示してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 7 | 医学的知識について適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 8 | 医学的技術について適切に指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 9 | 知識・技術について誤りがあった場合、注意や指導してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

B. セミナーについて (行われなかった場合は記入不要です。)

- | | | | | | | |
|----|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 10 | よく準備された教材を使用してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 11 | 病態との関連について適切に説明してくれた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

C. 自己評価

- | | | | | | | |
|----|----------------------|---|---|---|---|---|
| 12 | 知識が増えた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 13 | 基本的技能ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 14 | 診断・治療の選択が可能になった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 15 | 症例の提示(発表)ができるようになった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

D. 臨床実習の総合的評価

(悪い←-----→良い)

- | | | | | | | |
|----|------------------------|---|---|---|---|---|
| 16 | 臨床実習を総合的に評価してください。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 17 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず入力してください。
※この授業評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

試験評価

教科 _____

設問1～2については当てはまるところに☑をしてください。

(まったく思わない←-----→とても思う)

- | | | | | | | |
|---|-------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 試験の内容は講義内容(教育要項)に即していた。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 2 | 試験時間は適正であった。 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 3 | その他、意見があれば自由に記載してください。 | | | | | |

※教員の評価、ベストティーチャー賞にも反映することから、必ず提出してください。
※この試験評価は授業の改善、大学評価の資料とすることがあります。

<<令和2年度 教育研究開発センター 事業実績>>

1 各部会（医学部委員会）開催実績

部 会 名	議 会 題	実 施 年 月 日
カリキュラム専門部会	・ 令和3年度6年生選択制臨床実習スケジュールについて	第1回 令和2年11月17日(火) ※メール審議
	・ 令和3年度カリキュラムについて	第2回 令和2年12月2日(水)
教育評価部会	・ 卒業試験の合否判定について ・ ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞の推薦について	第1回 令和2年11月11日(水)
	・ 卒業試験（再試験）の合否判定について ・ 令和元年度の授業評価結果について	第2回 令和2年12月8日(火)
	・ CBTについて	第3回 令和3年3月2日(火)
運営委員会		
自己評価委員会	・ 令和元年度事業実績報告について	第1回 令和3年3月18日(木) ※書面持ち回り審議
FD部会		
医学教育分野別評価部会	・ 年次報告書（案）について	第1回 令和2年11月10日(火) ※書面持ち回り審議

※運営委員会及びFD部会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催実績なし

2 FD研修会（医学部）開催実績

	内 容	実 施 年 月 日
第1回	①テーマ：本年度卒業試験の概要について ②講 師：教育研究開発センター センター長 村田 顕也 ③参加者：教員 33名	令和3年3月29日(月)


部会・委員会
[教育評価部会](#)[入試制度検討部会](#)[カリキュラム専門部会](#)[臨床技能教育部会](#)[FD部会](#)[和歌山SPの会](#)**部会・委員会**[HOME](#)>部会・委員会**教育評価部会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [規程・運営要項](#)

**入試制度検討部会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [規程・運営要項](#)

**カリキュラム専門部会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [教育要項](#)
- » [規程・運営要項](#)
- » [カリキュラムの変更点](#)

**臨床技能教育部会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [OSCE部会](#)
- » [CBT部会](#)
- » [規程・運営要項](#)

**FD部会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [規程・運営要項](#)

**和歌山SPの会**

- » [お知らせ](#)
- » [活動報告](#)
- » [SPの会ご出欠連絡フォーム](#)

[▲ページTOPへ](#)